二・三・四月號發賣禁止

無產階級戰鬪雜誌

進め

進め 一部拾錢

大正十四年五月一日發行（每月一回一日發行）

五月號

戰陣の分合作用を俯瞰して（卷頭言）
社會の貧乏と仕組……石川準十郎
生きるに引合はぬ小作人…布施 辰治
シア共產黨內訌の眞相…小牧 近江助
ロメーデーの起源と意義……虎之門小
メーデーに對す
る希望乃至批評（端書回答）…諸 家
メーデーの行列……前田河廣一郎
巴里の勞働祭……小牧 近江
總同盟分裂問題……數 氏
私鬪共產黨の摩手……柄澤 理一
谷朴秀氏の苦言を讀みて…王 子 言
農村年靑の使命（端書回答）…諸 氏
近世社會主義史（七）……春田 正

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

五月號目次

表紙……………………………………………高橋季暉
所謂の分合作用を俯瞰して……（卷頭言）……石川準十郎
社會の貧乏と社會の仕組……………………布施辰治
生きるに引合はない小作人…………………小牧近江
ロシア共産黨内訌の眞相……………………小牧近江
メーデーの起原と意義………………………虎之門小助
端書回答……メーデーに對する希望乃至批評……
「力」の寒暖計メーデー……………………佐藤光徹
ゴルキーの「母」に取扱はれたメーデーの行列……前田河廣一郎
地球の廻轉が止つたやうな巴里の勞働祭……小牧近江
赤旗の下に……………………………………渡邊信義
我等の日メーデー……………………………物部明
女子とメーデー………………………………糸川クニ
日本勞働總同盟分裂問題……………………敦氏
關東勞働同盟會宣言…………………………
關東地方評議會宣言…………………………
落花粉々………………………………………天慨生
私同北斎黨の擧手……………………………柄澤理一
進め社便り……………………………………
谷朴秀氏の苦言を讀みて……………………王子言
無産青年の使命………………………………樹津四郎
端書回答……（農村無産青年の使命）………
近世社會主義史………………………………春田正
寫眞
山陰行き。關東勞働同盟會本部に關東地方評議會事務所

社告

メーデーに參加せよ

我等の日メーデーは近づいた。資本主義の世の中で、一年三百六十五日中、たつたメーデー一日だけは俺達の日だとは何といふなさけない事だらう。だが、たつたこの一日の示威行列にせめても我等の未來社會を想ひ併せて我等の力（勞働力）の如何に偉大なるものであるかを資本家の前に示さうではないか。

メーデーは我等の日である。勞働者は男といはず女といはず、一齊に此日は休業し、メーデーの示威行列に參加して我等の秩序ある組織ある威力を示すの時である。想へ！大衆の行進の如何に正々堂々たるかを。聽け！勇ましきメーデーの歌を。

此日全世界の無産者は、團結と友愛の旗下に立つのである。總ての勞働は休止され、地上一切の生命は一時、氣絶したかの觀を呈するであらう。

觀よ！大衆の眼を。彼れ等は何を視つめ、何を論理に畫きつゝ行進してるか。日本の勞働者よ來つてメーデーに參加せよ。而して我等が妨げられつゝ、ありながらも如何に友愛と團結の精神を高く把持してゐるかを、彼等に示さうではないか。

「資本論」研究會

今迄、十日、二十五日にやつて來た我社の研究例を今度五月からは五日、十五日、二十五日の三回に改めてやることになつた。研究科目は『資本論』で、石川氏が講義を擔當して異れることになつてゐる。研究者は「資本論の解説書」を臺本にしてやることになつてゐるから、人の如何を問はず、多數出席し研究されん樣切望する。尚時間は正午後七時から初める。

會計規約

會計係では事務の都合上左の如く規定を設けてありますから左樣御承知下さい。

一、雜誌に關する問合せ又は注文等は必ず會計係宛になす事

二、住所氏名は明瞭に書く事

三、見本希望の向は切手十錢を封入して申込む事

四、誌代は成可く六ケ月分以上前納する事

五、集金郵便代金引換郵便等にての送本は斷る

六、誌代切れ或は誌代前納なき場合は一切送本せざる事

七、誌代拂込は出來得る限り振替を利用し、振替の惡き場合は爲替又は切手を用ふ事（振替の通信欄には用件を明記する事）

八、振替にて拂込む場合は振替口座東京六九八五三進め社本部へ尚一切の用件は東京本部宛にする事

支局取消

兵庫縣第三支局（兵庫縣加古川町）藤原洋一氏は都合で支局をやめて、退鄕された。

讀者諸君へ

本社が經濟的に豐でない事も、又單なる氣まぐれに雜誌を發行してゐるものでない、から、良く諒解して下さるだらうと思ひますから、誌代の滯納してゐる支局諸君は此際至急拂込んで下さる樣おねがひします。（係り）

日本勞働總同盟の分裂と我等

日本勞働總同盟は遂に分裂して了つた。我々は本號に於て、その一方たる關東勞働同盟會派の言ひ分を紹介のために、進んでそのページの一部を割いた。我々は尚次號に於て、若し關東地方評議會派の諸君さへ辭しないならば、同派諸君の言ひ分を紹介のために喜んで又その一部を割かんと欲するものである。先づ兩者の言ひ分をして公平に聞かしめよ。而して、その批判に至つては我々の自由である。我々も次號に於てその批判的見地を明かにせんと欲するものである。

メーデーの歌

行進曲(アムール河ノ譜)

一、聞け萬國の勞働者
　轟きわたるメーデーの
示威者に起る足どりと
　未來を告ぐる鬨の聲。

二、汝の部署を放棄せよ
　汝の價値に目覺むべし
全一日の休業は
　社會の虚偽を撃つものぞ

三、永き搾取に惱みたる
　無產の民よ蹶起せよ
今や二十四時間の
　階級戰は來りたり。

四、起て勞働者奮ひ起て
　奪ひ去られし生產を
正義の手もて取返せ
　彼等の力なにものぞ。

五、我等が歩武の先頭に
　掲げられたる自由旗を
守れメーデー勞働者
　守れメーデー勞働者。

五月一日　我等の日なり

「今日は五月一日なり、われらの日なり」
これかれのわれに遺したる最後の言葉なり。
その日の朝、われはかれの病を見舞ひ、
その日の夕、かれは逐に永き眠りに入れり。
あゝ、かの廣き額と、鐵槌のごとき腕と、
しかして、また、かの生を恐れざりしごとく
死を恐れざりし、常に直視する眼と、
眼つぶれば今も猶わが前にあり。
彼の遺骸は、一個の唯物論者として
かの栗の木の下に葬られたり。
われら同志の選びたる墓碑銘は左の如し、
「われには何時にても起つことを得る準備あり。」

——石川啄木——

敵陣の分合作用を俯瞰して

■支配階級の陣營とも云ふべき既成政黨の間に、今や一つの分合作用が行はれやうとしてゐる。日本社會は今やその當然歩むべき道を歩みつゝある。一時最急進黨の徵候を見せた政友會が今やその頭首を高橋から田中に代へ、政界に一大波紋をゑがきつゝあるのは、決して時代の逆轉でも何んでもない。吾人はこの轉變行程の中に吾人のかつて豫期した運命を掌に指すが如く讀む事が出來る。世は正に資本主義より社會主義に向つて頗る健全に進みつゝある。

■日本支配階級主權は、所謂護憲運動に依つて劃時代的決定的に、貴族、軍閥、官僚の封建的階級より**ブルジョア**階級の手に移つた。今日軍閥の巨頭田中の政友會總裁就任は一昔前に於ける桂太郎の政黨組織とは其意味を異にする。田中の政友會入りは**ブルジョア**勢力の封建勢力に對する降伏でも妥協でもなく、むしろ封建勢力の**ブルジョア**勢力への降伏勤仕である。而して同時にそれは**ブルジョア**階級の一新的對的活動の開始を意味するものである。

■從來日本**ブルジョア**勢力は、一方に殘存封建勢力と戰ひ、他方に新興**プロレタリア**勢力を相手にせねばならなかつた。けれ共、その合法的陣營とも云ふべき政黨の關する限りに於ては從來新興**プロレタリア**勢力は殆ど問題ではなかつた。彼等の主敵は封建勢力にあつた。然るに今や、この關係は違つて來た。今や彼等の主敵は、新興**プロレタリア**勢力たらんとしつゝある、敵は今や漸やく本能寺にある！馬の踵を立て直すべき丹後と播磨の境に彼等は差し掛つて居る！

■日本**ブルジョア**黨は、必然の社會的情勢に迫られて、曲りなりにも兎に角「普選」を日本無產階級に與へた。彼等は進化の必然に迫られ斯くせざるを得なかつたが故にかくしたのである。けれ共思へ！これ以上彼等は無產階級によき何物を與ふることが出來るか！

■見よ。　支配階級陣營の分合改陣作用を、敵陣は今やその當然營むべきことを營みつゝあるのだ。

■我等は、この敵陣の分合作用を俯瞰して其の中に、その讀むべきことを讀み、期すべきことを期すべきである。(石川)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

社會の貧乏と社會の仕組

（社會的搾取の巻）

石川準十郎

搾取の意味及び搾取と盗棒

昔の人を地下から呼び醒まして見せたならば、多分魂消て氣絶でもするであらう程、今の世の中は進歩して居る。今日の社會の生産力と云ふものは昔のそれ自身に比較しては勿論のこと、人口の増加の割合に比較して何十倍も何百倍も増大して來て居る。それにも拘はらず、社會の大多數の人々は依然として貧乏に苦しんで居るのは何故であるか。それには大體二つの理由がある。一には社會的無駄なるものが行はれて居るが爲であり、二には社會的搾取なるものが行はれて居るがためである。而して、既に私は一の社會的無駄に就ては、本誌前號に於て不十分乍ら論じた。本號に於てはこれより二の社會的搾取に就て論じたいと思ふ。

社會的搾取とは、この世の中に大仕掛な搾取の行はれて居ることを云ふ。然らば、云ふ所の搾取とは何か。搾取とは他人の働いて作つた所のものを合法的に（法律の許す所に随つて）取ること云ふのである。

盗棒とは他人の所有する所のものを合法的でなく（法律の許さゞる所を即ち法律に反して）取ることを云ふ。盗棒にも種類があり、脅迫的に行れは强盗であり、コソ〳〵行れはコソ盗棒乃至スリ▲▲であるが其盗棒であることに於ては同じである。所でこの盗棒と搾取とは、合法的であると合法的でないとの相違換言すれは法律に依つて認められて居ると居ないとの相違ある點に於て異つて居るが、共にその他人の物を取る點に於ては同じである。

尤も日本史に於ける所謂戰國時代等にあつては、盗棒も搾取も區別がつかない。武士階級は平常平民階級より一定の税を徴したのみならず、必要に應じては騎馬を走らして腕力を以て財を徴集した。「斬り取り强盗は武士の慣ひ」であつたのである。それはその時代の習慣律（法律には成文律と習慣律とがある）であるとは云へ、かうなれは最早强盗と何の擇ぶ所も無いのである。

之を要するに盗棒と搾取とは甚だ相近いものであり、搾取とは一種の盗棒のことである。

この搾取は、嚴密には階級的搾取と呼ぶべきものであるが私は單に、社會には搾取が行はれて居ると云ふ意味て、社會的無駄と云ふ用語に對して分り易く社會的搾取と名付けた次第である。

搾取の世の中二種類の階級

所で、今の世の中はこの搾取の世の中である。否、原始共産社會の當然亡ぶべくして亡びて此方の世の中は、ずつと搾取の世の中である。而して、この長い搾取の時代は大體（一）奴隷制時代（二）農奴制時代（三）賃銀制時代（換言すれは資本主義時代）の三期に分たれるのであるが、今の時代は實にこの第三期の賃銀制時代即ち資本主義時代といふ搾取時代である。

然らば、今の世の中に於ては如何にしてこの搾取が行はれてゐるのであるか。

今の世の中に於ては、生産機關（土地、工場乃至商館、機械乃至器具、原料、助成材等を指さす）を有する者と、有しない者とが相並んで存在してゐる。前者は所謂ブルジョア階級（資本家階級又は有産者階級であり）後者は所謂プロレタリア階級（勞働者階級又は無産者階級）である。そしてこの無産者階級は大抵どこの國でも全人口の約九割位に當る大多數を占めてゐるものである。試みに、英國のチオザ、マニーといふ人の一九〇八年に於ける同國の統計をあげて見ると次の如くである。「一九〇八年に於ける英國の人口は四千三百萬人であつて、財産の總額は百三十七億六千二百萬ポンド（一ポンドは日本の十圓に相當す）であつた。所で、その全人口の内約四百萬人の人口がその全財産の約三分の二を有し、殘りの三千九百萬人は三分の一を有してゐた。換言すれは、富者一人に對し貧者が九人の割合であつた。これによると、富者は一人につき平均二千二百九十三ポンドを有し、後者は一人につき平均百十一ポンド餘を有する譯である。けれ共實際には又、その三千九百萬の貧者階級の内約千五百萬人は殆と何等の財産をも有してゐないといつてもよかつた。」

日本に於ては未だこの種の統計が發達してゐないが故によく分らないけれ共、大體同樣であらうと思はれる。

斯樣に、富はいちじるしく社會の一方即ち少數者の手に集中されてゐるものであつて、随つて殊に生産機關の如きはいちじるしく少數者の手に占有されてゐるのである。即ち、今の世の中には生産機關を有する少數階級と、生産機關を有せざる大多數者階級とが存在してゐるのである。

資本主義生産方法と剩餘價値

所で、その生産機關を有しない所の階級の人間は、如何にして生きて行くのであるか。唯一つ、勞働力を賣つて食つて行くより他に道はない。（尤も農業に於ては、土地を借用して生きて行くのであるが、理屈は同じことである。」

今の世の中に於ては、勞働力も一種の商品である。資本としての貨幣を有する所謂資本家は、この勞働力をは、その志す生産に必要な他の商品（機械、原料、助成材料等）と共に月いくらといつて買入れて、これをその生産行程に於て消費するのである。即ち、働かせるのである。而して、斯くすることによつて資本家は新なる生産物を作り出してこれを商品として賣るのである。即ち、資本家は貨幣を以て商品を買ひ入れ、その

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

商品をば生産行程に於いて生産的に消費することによつて新なる商品としての生産物を作り出し、これを又売つて貨幣と取換へるのである。これを図表にして示せば次の如くである。

貨幣――商品――貨幣

所が、この前の貨幣と後の貨幣とは、貨幣は共に貨幣であるが、その価値の大きさは違ふ。前の貨幣と後の貨幣とが同じ価値であつては、資本家は折角生産を営んだ意味が無くなる。資本家はそんな間抜けたことはしない。それ位なら貨幣をば只寝かしい置いた方がよいのである資本家は、後の貨幣は前の貨幣よりその価値大であり得ればこそ商品を買ひ入れてこれを生産的に消費してこれによつて新なる商品を作り出すのである。

所で、後の貨幣が前の貨幣より価値大なる為には、新に生産された商品のその生産のために消費された商品よりも価値が大でなければならない。だからして、先の図表は実は次の如くなるのである。図線は生産行程を示す。

貨幣――商品……(商品十(商品))――(貨幣十(貨幣))

この前より余計な分の価値を称して所謂剰余価値と云ふのであるが、然らば、資本家はこの剰余価値を如何にして導き出したのであるか。――それは実に先に生産機関と共に買入れた労働力の生産的消費からである。

剰余価値の源泉及びその行衛

一体人間は其労働によつて、その生存のために消費するよりもより多くを生産することが出来るものである。随つて、何時の時代に於いても剰余生産物即ち剰余価値は生産されることが出来るのである。人間の労働にこの剰余価値を造る力があればこそ、今日の如き進歩も来したのである。而して剰余価値を作るものは労働以外に何物もない。労働は剰余価値の唯一の源泉である。

所で、資本家はこの労働（職工には労力）をば、先に機械、原料、補助材等の他の商品と共に、丁度その生産価値即ち労働者の生存費の程度で、之を買ひ入れて居るのである。勿論、あの労働者はその標準的生存費（彼及び彼の家族を養ふ費）以上に貰つて居るかも知れないが、其の代り他の労働者は殆どその標準的生存費以下の生活に沈淪して居るのであつて、平均的には労働階級が丁度生きて行くことが出来る位を与へられて居るのである。之を要するに、資本家は労働者に対しては丁度生きて行くに必要な五だけのものを払ひ然も十のものを生産させて居るのである。換言すれば、労働者は賃銀として三円を貰つて、実は六円だけ生産して居るのである。残りの三円即ち剰余価値三円は何処に行くか？いふ迄もなく資本家の手に収められるのである。即ち、搾取されるのである。

人間は彼自身の労働に依つて生産し蓄積し得る剰余価値の大いさは、一生一代を通じて知れたものである。現今の資本家階級の富なるものは、斯の如き自分自身の労働に依つて作られたものではなくして、実に他人の労働の成果を搾取することに依つて出来上つたものであるのである。即ち、全く不労所得より成るのである。我れは次に暫らくその具体的考察を試みやう。

三井三菱の富の由來及び性質

天下にその大を誇る三井、三菱の富の如き元よりこの搾取の結果として出来上つたものである「三井、三菱の富は殆ど一代にして作つた」ものとかよく言はれるが、学問的観察にはそれは、一代にして作つたものではなく、一代にして他人の物を取つたものである。だからして感嘆するなら、「一代にしてよくあれ程作つたものだ」と嘆ずべきものではなく、「一代にしてよくあれ程他人の物を取つたものだ」と嘆ずべきものである。我々は今少しくその立ち入つた研究をしやう。

三井、三菱の當代（現在の主人公）が、その青年時の或時に於て一万円を有して居たものとする。この一万円は、彼が自分自身の労働に依つて働き出した剰余価値の貯蓄の結果であつても、或ひは又先代から貰つたものであつても、或は偶又他人から搾取したものであつても、問題には関係がない。我々は暫らくそれが彼自身その労働に依つて働き出したものと仮定する。所で、彼はこの一万円を以て或る事業を初めたとする。そして彼はその一万円の中、五千円を生産機関に投じ、残りの五千円を労働者を傭ふに即ち労働力に投じたとするも、労働力の生産的消費は剰余価値を生む。この剰余価値の率を十割とすれば、新に作り出される剰余価値は五千円である。従つて、彼は或一定の期日の後には一万五千円を所有することにする。彼は又この一万五千円を再び同様に投資する。然る時は、同様にしてその一万五千円は今度は二万二千五百円となつて出て来る。同様にして三回目にはその二万二千五百円は、三万三千七百五十円となる。今一回の期日を仮りに二ケ月とするならば、彼は六ケ月の後には、最初の一万円の代りに今や三万三千七百五十円を所有することになるのである。斯くして同様に次から次へと無限に同様の回転が反復され、その度毎に資本は増加して行く。資本家階級の所有する富なるものは凡て斯の如くにして出来上つたものである。換言すれば、資本家階級の致富するものは全て搾取（他人の物を取ること）に由来するものである。

所で、以上の例に於て、最初の一万円は彼三井、三菱の當代が其労働に依つて働き出したものであり得る。且つ実際にさうであつたかも知れない。随つて、最初の労働者へ与へる賃銀は彼の作つたものであり得る。然し、二回目からはその性質は違ふ。三井、三菱の當代の作つた一万円は第一回の生産行程に於て既に消費されて居る。新しく出来た一万五千円は彼の傭つて役用した労働者が作つたものである。随つて、賃銀も最早その労働者達の作つたものである。否、賃銀許りではない。二回目以後の資本は凡て労働者の作つたものである。換言すれば、今日の三井、三菱なるものは全て日本無産階級の作つたものである。三井、三菱は只他人の作つた物を取つたに過ぎないのである。（二十七ページ三段につゞく）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

生きるに引合はない小作人

貴族院に於ける地主代表の放言を擊つ

布施辰治

一

農村の疲弊を論じて小作爭議に及ぶものは皆いふ「農村耕作の現狀は、小作人も引合はぬであらうが地主も引合はない」と。

現に日本の大地主縣として、有名な新潟縣の多額納稅議員佐藤某の爲したる首相の施政方針演說に對する質問要旨を拔抄すると、

「新潟縣は全國中就中農村の大きい處で水田だけが十七萬町歩、畑が八萬町歩あり地主側所得は、反當り法定地價大凡四十五圓平均で收穫平均二石三斗、この一反歩二石三斗の中小作料一石であるが、一石の小作料を所得するために支拂ふ地主の諸經費は、凡そ地租を初めとして、縣稅、町村稅、整理費、水害豫防費、其他法律上の公課二十圓五十錢である。處で現今の米價は三十五圓前後であるから地租其他の公課二十圓五十錢を引去ると十四圓五十錢を餘すのみである。これを農業資本の利廻りに直すと、凡そ中田目下の價格は一反歩五百圓で、その利廻りが漸く三分弱の二分九厘餘となる、三分と見ても世の營業者にして之にあまんずる者はなからう。況んや他の營業者は年に何回も利廻りを取るが農業者は一年十二ケ月中に一遍の利廻り收穫があるだけである。それが現今米價を三十五圓としてゞあるが、それ以下になつたら殆ど農業資本に利廻りがなくなる。斯ふした計算は地主側から見た農村の破滅である。又小作側から見ても同樣である。只今擧げた一反歩二石三斗の內一石を地主に納めた殘餘の一石三斗は小作業者の利得であるが、その一反歩二石三斗を得る田を耕すために、小作人は耕代、肥料、其他農具の修繕、耕作人夫男二十人女八人を要する。この費用を合計すると五十二圓八十錢となるが、一石三斗の小作人所得を金に積ると、米が一石四十圓にならなければ、なんにも小作人の收益はない」

といふて居るが、佐藤某の質問要旨は、立論の根據も間違つて居れは、統計的數字にも虛僞がある。が、假りに地主代表佐藤某の勝手な放言通りとしても、地主には幾分の利廻りがあつて、小作人には聊かの利得もない、全然働き損である。社會への御奉公ならば未だしも、地主への只奉公である。況んや佐藤某の所論には根本觀念の誤謬と數字の虛僞があるに於てをやである。數字の虛僞は現に佐藤某小作爭議事件の證人として出廷した、農業技術員の證言によつて極めて明瞭に指示される。卽ち新潟縣下に於ける最近七ケ年間の一反歩平均收穫は一石七斗二升七合であつて、二石三斗の收穫を見てゐない。又、大正十三年度に於ける坪刈反收は

等級	株數	一升面積	反當收量
上	四四	三百十匁	二石一斗二升五合
下	五三	三百五匁	一石八斗〇一合
中	四六、四	三百五匁	一石九斗三升六合
上	四四	三百五匁	二石七斗一升五合
上	四六	三百十四匁	一石七斗八升五合
中	三九	二百十一匁	一石七斗九升八合
中	四四	三百十二匁	一石四斗九升九合
下	四四、三	三百十匁	一石六斗七升八合
下	四四、三	三百十匁	一石三斗二升二合
平均			一石八斗五升一合

であつて小作人の收穫は、佐藤某の擧げた數字以下にあり、從つて其の虛僞であることは明々白々であらねばならない。

二

之に反して地主の負擔は、佐藤某の云ふ通りに重くない。大正十三年度新潟縣中條町の調査は左の如くである。

一、地租地價百圓に付 金四円五十錢

一、縣稅地租割地租一円に付 金一圓三十一錢二厘

一、町稅地租附加稅地租一圓に付 金六十六錢

一、農會費 地租一圓に付 金二十一錢

一、水利組合費地租一圓に付 金六錢

小計金二圓二十四錢二厘

地價百圓に付金十圓八錢九厘

外に平均の戶數割所得稅を合せて金十四圓五十八錢九厘だ。

然も地主の取上げて居る小作料は、佐藤某の云ふ一石よりも多く平均一石一斗位になつて居るのだから、小作人の窮狀は察するに餘りがある。況んや地主の引合はないと云ふのは、小作農耕土を時價相場に換算した反五百圓とか六百圓とかにしての事であるが、地主が小作農耕土を所有するに至つたのは古い昔の事であつて、時價相場に購入したものでなく、古きは二三百年前新しきも數十年前に購入せるか、流れ質に取れるか、或ひは詐取したものだと云はるゝ迄に法外に廉く、反二十圓か三十圓、若くは五兩か三兩で買取つたものである。故に時價相場の反五百圓や六百圓に賣却する事が出來る資本の增大は夫れ丈けでも買入價格よりは時價何十倍何百倍の利益であつて、其上の利子を見込むのは不當である。故に今日の地主が買得價格と賣却價格との差額の擴大を圖り、以て愈々農耕土に資本性を賦與し之を商品化せんとする暗默の意圖は、正當に排斥せらるべき見解である。が假りに之を許すとするならば、安く買入れた商品を高く賣却して利益を得る爲めには、學理は暫らく之を問はず揶揄的にいへば、一定の倉敷料か保管料かが必要な筈である。然るに地主は買得と賣却の差額に於て利益するのみならず、其の間の倉敷料も保管料も拂はずに、却て上の保管人たる小作人から收得する利廻りの良い小作料の收穫が、引合ふの引合はないのと云ふて居るのは、あまりに强慾過ぎるに充分である。

三

更に況んや地主の引合はないのと、小作人の引合はないのとは、同じ引合はないと云ふ言葉で言ひ表はさるゝにしても、全然其意味內容を異にするに於いてゞある。地主の引合はないといふのは、モツト儲かる筈だが儲からないと愚痴る算盤珠の問題であるに反して、小作人の引合はないといふのは、一年の生命を捧げて働いた報酬が、來るべき一年の生命を支ふるに引合か引合はないかつまりは生きて行けるか行けないかである。お互に引合はないのだからお互に我慢

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

してはと云ふ事には斷じて行かない異つた意味内容を有つのである。勤勞の報酬の引合はない地主に我慢させることが正當であるからと云つて、生きられない小作人に我慢させる事が等しく正當であると誰が主張し誰が考へ得るであらう。地主と小作人とは、農業生産の結果に對して、等しく分配に干與する權利を有つとしても、その分配の權利は、常に必ず平等だとは言へない。例へば、一人の債務者に對して多數の債權者が何かを求める場合、その成立と分配要求の條件とを同じふする債權者がお互に分配の引合はないときには、比例配當でお互に我慢するか、特殊な關係が成立した債權者の分配要求は又、特殊の保護を受けて他の債權者よりも優先の配當を受けることが出來る。さうして、その殘りがあつたら、之れを他の債權者の配當にだてる規定がある。

小作爭議に於ける地主と小作人の配當も、又、常に必ず地主と小作人が同じ權利で、農業生産の配當を受くべきものではない。地主の農業生産に就て配當を受けて權利と、小作人の農業生産に就て配當を受ける權利とは、其の成立の因緣と事情とを各々異にして居る。地主は單に小作地を所有して居ると云ふ登記上の名義者に過ぎない地主は小作地がどのやうに利用せられたか、又、どれ丈けの生産を擧げ得たか乃至は擧げ得る可能を與へたかに就く、些かの挑戰をも携つて居ない。甚だしきものは自己所有名義の小作地が陸田であるか、水田であるか乃至は半耕か否かも知らない無關心さである、直接小作地の指示を求められて之れが自分名義所有地なりと指示し得る大地主は殆どあるまい。然るに小作人は假令自分の所有名義でなくとも、遠き祖先を遡れば自分の先祖が荒無地を開墾して耕作適地にしたか、或は相當の金で小作權を讓り受けて耕作して居るのである。そして農業生産一年の收獲はまことに朝に星を戴いて夕に月影を望む、農村勞働者の生命と精力の總てを捧げた血と汗との結晶である、斯ふした農業生産に對する小作人の權利は、地主の權利よりも強固で且つ優先であらねばならない。只だ一經に地主も小作人も共に農業生産物の分配を受ける權利があると云ふても、固より今日の話では無い。須からく小作人に優先の保護を與へて、一年の生命を捧げた農業生産は、又、更に一年の生命を支ふるに引合ふ丈け其の配當を特權的に先取せしむる必要がある。そして其の餘りを地主に配當すべきである。

四

勞働神聖の倫理的見地に立つて、血と汗との結晶よりなる農業生産物の分配を按ずるものは、何人と云へども其の所論の當然を肯定するに吝ならぬであらう。農業生産に於ける分配の不合理、勞働の沒收既に然り、之を住むことに於いて、喰ふことに於いて、將た着ることに於いて、約言すればあらゆる生活權威に亘つて常に絶ゆることなき脅威と迫害と無理強ゐることを敢てせらるゝ處に、種々な社會問題の突發と闘爭と其の解決とに行き惱む。動搖不安に苦しましめられる所以が深く存するのである。此意味に於ける小作爭議の根本眞因は、地主と小作人とが、農業生産の分配に同等の權利があると思つて居るところにある。しかして其解決は、一方小作人は生きる權利を裏付ける勞働提供による報償の當然なる要求としての優先を保護せられ、他方地主は投資利子仕拂の形式として其餘りの配當を惠まれることにあらなければならないと思ふ。

斯ふした見解の下に、總ての階級鬪爭に於ける爭議を通觀する階級の對抗乃至鬪爭は、生きる權利と儲ける權利說に之を言へば無償獲得意志と有償獲得意志との衝突である。そこで私は敢て問ひ度い。儲けることゝ生きる事と、どちらが大切であるかと恐らくは何人と雖も儲けることよりは生きる事が大切だと答へて呉れるであらう。既に生きる事が儲ける事よりも大切だとしたら、總ての爭議は立處に解決せらるべき筈である。と同時に、全人類の生活を保證するに餘りある物資の生産を一部の所持階級が資本の爲めに濫費したり、權利の爲に腐らしたり捨たりして一般無產階級の生活を脅かすことの罪惡が確認せらるゝであらう。（完）

斷篇斷想

桧山涙江

◆春まだき時、寂寞の中に、眞紅の椿の花が咲き出す。農村の傳統的な、夢幻的シムボルであれば結構であるが、此こそは吾人に血と涙とを示す先驅的シムボルではあるまいか？

◆血と肉と涙とを以つて描くべきは何か？、〇〇を以て、吾等農民の解放を叫ぶべきである。

◆全國高等學校の科學思想研究會の解散を校友會誌で非難した生徒を六箇月の停學に處した某高等學校長がある相だ。彼等こそ高校長さんでは惜い、文部大臣にしろ！

◆前者解散當時、否以前に於ても我水戸高等學校には此種研究會がなかつた相だ。思想善導を伺ふ、水戸人の校長さんが、此所にも其の末端を現はしてゐる。悅ぶべきか？、悲しむべきか？、勿れ主義が今の爲政者のモツトーだ相だ。だが大衆が苦しむのを

◆鎭めやうたつて、今に二十萬の師團と、五十萬のサーベルと一萬のピストルだつて、どうする事も出來なくなるであらう。泣いてゐる裡は天下泰平だと想ひ、泣かしてゐる間は、平穩だと想つてゐる爲政者に泣きが嵩つて、血の肉が飛ぶ事を知らしめてやりたい。

◆悵然出門外に散策した、水戸の血も今は涸れ、水戸も日本も闇に眠る。

◆明るい、新しい日本の建設は、あゝ誰の仕事だ。今の日本の總てを見ると、一擊の下に俺の理想通りにはしてやり度い。其して、俺の血の樣に、燃える手で吾等の上で作り直したい。

◆治安維持と骨拔普選が腕を張つて、闊行する。然して、今や鐵に、天下は泰平である。

官僚主義?! 民主主義?

ロシア共産黨内訌の眞相

トロツキイ派對ジノヴイエフ派の爭點

小牧近江

トロツキイ問題は、トロツキイ個人と、ロシア共産黨の幹部、即ち中央委員會を構成してゐるジイノヴイエフ、カーメネフ等との、私的關係が革命初期からもつれあつてゐたかどうかを別とし、（まさかそんなこともなからうが）少くもロシア共産黨、延いては各國共産黨の大問題となつたのは、今に初まつたことではないやうである。而して、その由來經過をたどれは、少くもその端を已に一九二三年の後半期に於て發してゐることを發見するのである。即ち一昨年の後半期は勞農ロシアの最も經濟的危機に瀕してゐた時代であつたことは當時の各方面の情報に徴することが出來るのである。しかるに勞農ロシアに於ては、その頃已に、ロシア内部の勞働者側にも可なりの不平分子があつて、すでに「勞働團體」「勞働眞理」といふ二個の秘密結社が成立してゐたそうだが、前者はメンセヰキー、後者はサンデイカリスト、アナーキストのグループであつたといはれてゐる。

ことの起りは、それといふのもロシア共産黨第十二回大會で、この經濟問題に對して決定的決議をしてなかつた故だといふのだ。そこで、同年の九月になつてやつと共産黨の中央委員會から特別調査委員會といふものが任命されて、ともかくもその問題を考究することになり、結局經濟恐慌の根本問題が政府の經濟政策が、利益本位であり過ぎたり、經費が濫れてあり過ぎたことなどに氣ついて、多少の改善を圖つて見たけれども、何分生産といふ大問題の解決であるだけ、決議やら何やらの姑息な手段だけでは容易に決末をつけることが出來なかつたのである。

そこで、先づトロツキイは同年の十月八日、中央委員會に建白書を送つたのである。それによるとロシアの經濟政策がとかくうまく行づてゐない根本理由は、「工業の集中」並に「生産に關する一定方針の必要」を骨子にしたところの第十二回大會の決議を忠實に適用してないといふのであつたのである。更にトロツキイの論鋒は、政府の不滿者に對するとかくの高壓政策を難じ、論調が進んで峻烈な追擊に移つたのである。實にそれは共産黨の官僚化こそ一切の暗雲を解決すべき鍵であるといふのであつた。ロシアの共産黨内部にはあるべからざる天降り式任命の役人階級が出來て來たといふのであつた。そこで、トロツキイは共産黨第十回の精神に基いた一切の情實を捨てたる「黨内の民衆化」を力說したのである。

そこへもつて來て、同じく十月の十五日、プレオブラジエンスキイ（ブハリンと例の「共産主義入門」を著述した黨員だ）をはじめとする四十六名の建白書が中央委員會に屆いたのであつた。そしてそれがトロツキイの建白書とは似たりよつたりの意見書であつたのである。これと同時にラデックも同樣の建白書を送つてゐる。

さて、トロツキイ一派の言ひ分によると、「黨内の民衆化」の問題は十二月五日の中央委員會に於いて滿場一致で可決した通り、すべて解決したことに思つてゐた。ところが豈計らんやだ、この問題が、あらうことか改まつて共産黨中央委員會から再燃し相互の論爭が更に白熱化して行くやうになつたといふのである。當時トロツキイは病臥して直接黨議に參與することも出來ず彼はその年の十一月七日の革命紀念にも出席し得なかつた辛じてプラウダ紙に二三の意見を縷說してゐたが、彼の十二月八日モスクワのある總會に送つた書面が（該書面に如何なる都合上か、總會終了二日後のプラウダ紙に掲載された）計らずも更に問題を大きくしたのであつた。中央委員會の多數はこれを以て明かに「反對」の氣勢であるとなし、トロツキイに對する批難は論爭を取越して個人攻擊にまで及んだのである。しかも、この十二月八日の書面は善意か惡意か、該總會の閉會後二日目のプラウダ紙にやつと發表されたそうだが、トロツキーの憤慨したのも無理がない。内容は主として、共産黨に後進の道を開くべきことの言及やら、黨内の官僚化は黨内に分派を形成させる根本動機であることなどを指摘してゐるものである。

その後、トロツキーはプラウダ紙に於いて更に二三の主張を發表してゐるやうであるが、それらを取纒めて發表したのが、問題の「新潮流」なのである。該著書は昨年三月の共産黨第十三回大會の開催前に發表されたのであるが、それがまた、更に論爭の火の手を強めたものといへやう。

以上は大體トロツキー派の言ひ分である。

次に少しく共産黨中央委員會側の言分を紹介するとしやう。

中央委員會の言分によると、同委員會は一九二三年九月の反對派の運動が起るずつと以前から、反對派に指示されるまでもなく、勞働民主主義に對して夙に考慮してゐたと聲明するのである。尙は、同委員會の主張に從へば、反對派のグループの少數意見は、これまで再三繰返されたものであつて、その都度黨議で否決されて來たのであるが、偶々一昨年の九月に到つてトロツキーの建白書を皮切りにこれにつぐに反對派四十六名の建白書の提出となり、俄然反對派の總攻擊となつたといふのである。

更に、中央委員會の聲明によれば同年十月の中央委員會並に中央審査委員會の聯合總會はトロツキー及び反對派四十六名の態度は徒ら

に黨内に分派を形成させるものであるとして、之れを否定し、尚ほ同聯合總會はトロツキーの建白書にも、四十六名の建白書にも同樣に一切論爭を交へぬことに申合せ、且つ黨外に該建白書を發表せぬことゝし、一〇二對二、棄權一〇で反對派の行動を非としたのである

その後、中央委員會は何とかしてトロツキー一派との折合をつけやうと試めたのであるが、トロツキーはロシア共產黨内に於ける、「分派の組成禁止」には納得するところがあつたが「團體の自由」は飽迄これを主張したのであつた。加之、反對派の態度は更に頑として改まらない。ことに、トロツキーの筆になる「新潮流」なる著書は明かに分派主義を構成する資料であり、宣傳であり更に、不都合なるは、これ等反對派の分子の多くは過去に於ける熱心なる「民主的中央集權說」を支持したところのグループの分子たちであるといふのである。そして、それに加つてゐるのが、プレオプラジエンスキ、スミルノフ、セレブリヤコフ等の如きは共產黨第十四回大會に於て、レーニンの提議の結果、中央委員會の再選にもれた同志たちであるといふのだ。しかも、トロツキイは甘んじてこの反對派の頭目に推されてゐるといふのである

然而、反對派の不滿に對する聲明として、共產黨幹部派の公表されたところを綜合すれは、

イ、反對派は、共產黨の官僚化といふが、それは共產黨から國家機關を努めて引き離さうとする手段であつて、これは第十四回大會で問題にしたものを、更にトロツキイが今回形式を代へてそれの蒸返しを計つたに過ぎない。

ロ、反對派の主張するジエネレーションの問題は、主として、學生を目指し、青年勞働者を顧みない。反對派は後進者を煽動するより、青年コムミユストの黨員としての義務觀念について今少しく訓示指導すべきである。

ハ、同志トロツキイの態度は中央委員會員を攻擊するのあまり、明かに勞働階級多數の精神的混亂を助成しさせてゐるといふものだ

ニ、反對派は經濟政策の失敗を批難してゐながら、何處が失敗であるかを明かにせず、無論それならどうすればいゝかといふ對案をも明示してをらぬ。反對派の經濟政策の批難は正に二色ある。その一は「戰爭の共產主義」に還れといふ徒らな言辭上の左翼主義であるその二は帝國主義の列强に、より以上の讓渡をせよといふラデツクの主張する經濟政策で、二つとも通用のならぬ議論であることは解り切つてゐる。

ホ、反對派の主張する黨則の根本觀念はボリセヰキ的精神の見解と全然異つてゐる。レーニンは嘗て「知識階級的無政府主義」を倒せといつたではないか。

ヘ、黨内に分派をつくつてならぬことは已に共產黨第十四大會で解決されてゐる筈である。しかるに目下新に反對派の主張する分派主義も幽靈主義もともに共產黨それ自身の職能にまで似觸するものであつて、徒らにブルジヨア階級をして共產黨の分裂を期待せしむるものである。從つて、レーニン主義の採るべき道ではない。共產黨はかくの如き反對をプチ、ブルジヨア的行動と見做し、これに對しては常に嚴重の態度を取ることを怠つてはならぬ。

以上はロシア共產黨中央委員會の申開きである。次に第十三回大會に於けるトロツキイの演說と、それに對するカーメネフ、スターリン、ジイノヴイエフの反駁について一言してこの稿を了へることにしたい。

トロツキイは昨年五月廿四日、第十三大會に於て雷霆の如き拍手に迎へられた。ここには改めて黨内のジエネレーシヨンの問題、分派とグループについては說明するまでもない。トロツキイはプチブルジヨア思想に對して次の注意を促してゐる。「黨内の民主主義問題は、なる程理論上からいつてプチ、ブルヂヨア的影響をもたらすものであるかも知れない。が、これと同時に考へておかねばならぬことは、黨内の官僚主義の及ぼす危險なるプチ、ブルヂヨア思想の投入といふことである」といふのである。

カーメネフは同廿四日、スターリヌは廿七日、ジノヴイエフも同じく廿七日、各々トロツキイに反駁するところがあつた。

スターリヌによれは、プチ、ブルヂヨア思想とはレーニンのいつた如く「プロレタリア」獨裁の鐡則を破り、ことに無產階級獨裁の治下に於て、陰に陽に經濟上ブルジヨア階級を支持するものである、といふので個々反對派が第十三回大會でプチのブルジヨア呼ばはりをされたのも又詮方ないことであらう。ともあれ、「我等は今回も友誼的にいはゆる反對派とともに黨議に從ふすることを聲明する者である」が、將來の一致は一に反對派諸君の態度如何によるものである」と述べてゐる。ジノヴイエフは、「予は問題の「新潮流」を冷靜に再讀したのであるが、一言半句そこには何等ボリセヰキズムの精神を發見することが出來なかつた」と前提しゝことに、「ロシア共產黨は二階造りのやうなもので、上で決議するものと下でその決議を待受ける者がゐる」などの一部は同志トロツキイの如き共產主義者の言として聽き捨てにならぬ暴言であると、悉く憤慨の句調である。

その他カーメネフの反感その他をあけれは、きりのない話であるが、飛んだことになつたもんである。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

ところが、さすが問題の人がトロツキイだけあつて、相手になる辭令も、比較的外交辭令に飛んだ文句をならべてゐる。トロツキイも、さすが謹愼してか、比較的、まわりくどい、守勢的な言辭を用ひてゐるやうだ。但し、僕は直接のロシア語でよんだのではないのだが、ただそんな氣がされるのだ

さて、この結末はどうなつたか知れたこと。第三インターナショナル全般の問題にまで擴大したが結局はロシア共産黨第十二回大會の決議通り、昨年の第五回共産黨世界大會でロシアの中央委員會、即ち幹部側の勝利となつた。これで、トロツキイ一派の敗北となつて、ロシアの内國だけはどうやらかうやら、さしもの問題も一段落ついたわけである。ところが、ロシア内國に於けるトロツキイ問題は各國共産黨内部に於けるいはゆるトロツキイ主義の勃發となつて事件がいよいよ世界的複雜なものになりかけてゐるやうである。フランスのスヴアリヌは例の「新潮流」のこと先づ除名となり、ドイツのタールハイマアもどこやらあぶないらしい。その他その他で、その餘波は決してあなどるべからざる形成になつてるかの感がある

そこへもつて來て更に物議をかもしたのが例の「一九一七年」問題である。「一九一七年」は有名なトロツキイの「一九〇五年」革命の姉妹篇として發表されたものであるが、その全文も共産黨の威嚴に關しまじきものであるとせられるが、とくにその序文、つまり「十一月革命の教訓」は共産主義の精神をみだり、いはゞ不滿の文學物であるといふので、多少、上部の經濟政策や、官僚化で沈默したものまでも蹶起になつて抗辯してゐる。それらのことについては宗伏氏の如きも「文藝戰線」一二月號に於て説明してゐるし、今回は發端だけでそれを略す。たゞ一言したいことは、この問題では待つてゐましたといはぬ許りトロツキイ攻撃はひどい。更に、遠慮なく僕たちのいひたいことは、元來かうした重大な問題は今少し自由に判斷させるべきであると思ふ。モスクワの幹部の態度は、とかく發表の公平を缺いてゐるといふ事實を否定することが出來ない。われわれは、からくも、わづかに制限ある一方面のみの發表といはんか宣傳といはんかと思はれるものによつてのみ、事實を知ることしか出來ないのだ。それはいかに共産主義の精神に忠實ならうとしても多少は幹部の横暴を口にしたくなる。トロツキイ問題の眞相の一方のみの公表など、露骨にいへば少し面白くない横暴と思はれる現象だ。トロツキイ主義はボリセズムに相反するものであるといふなら、今少し、トロツキイ乃至トロツキイ派の言ひ分をも公平に公表して然るべきであると思ふ。

とにかく、善惡に拘はらず、トロツキイ問題は今や、先程にも述べてある通り、共産黨の世界的問題である。それをトロツキイは感情家であるとか、藝術家であるとかつて、そうは簡單に片つけられないやうな氣がする。まして、單にロシアといはず、世界の革命に於けるあらゆる意味に於ての忘れるべからざる人間をそうめつたに葬りたくないものだ。われわれはジノヴイエフを君呼はりすることも避けたくは思ふが、といつて、トロツキイを單純にプチブルとかなんとかいつて安つぽく片つけて仕舞ふことにも贊成出來かねる。（完）

世界無産階級 五月の歴史

一日―（一八八六年）第一回國際八時間示威運動擧行。メーデー嚆矢

一日―（大正九年）日本最初のメーデー東京上野公園に擧行さる

二日―（大正八年）長崎縣松島炭坑に騷擾勃發す。

五日―（一八一八年）カール・マルクス、プロシヤのトリエルに生る

七日―（大正十一年）日本海員組合創立さる。

九日―（大正十年）日本社會主義同盟第二回大會東京神田に開催さる。

十二日―（大正十二年）ソビエツト・ロシヤの使節ヨツフエ日本に到着す。

十八日―（大正八年）大坂鐵工組合創立さる。

十九日―（一八二六年）佛國空想的社會主義者サン・シモン死す（六十五才）

二十日―（明治卅四年）安部磯雄、片山潜、幸徳傳次郎等「社會民主黨」を組織す。

廿一日―（一九二二年）第二、第二半インターナショナル合同會議開催さる。

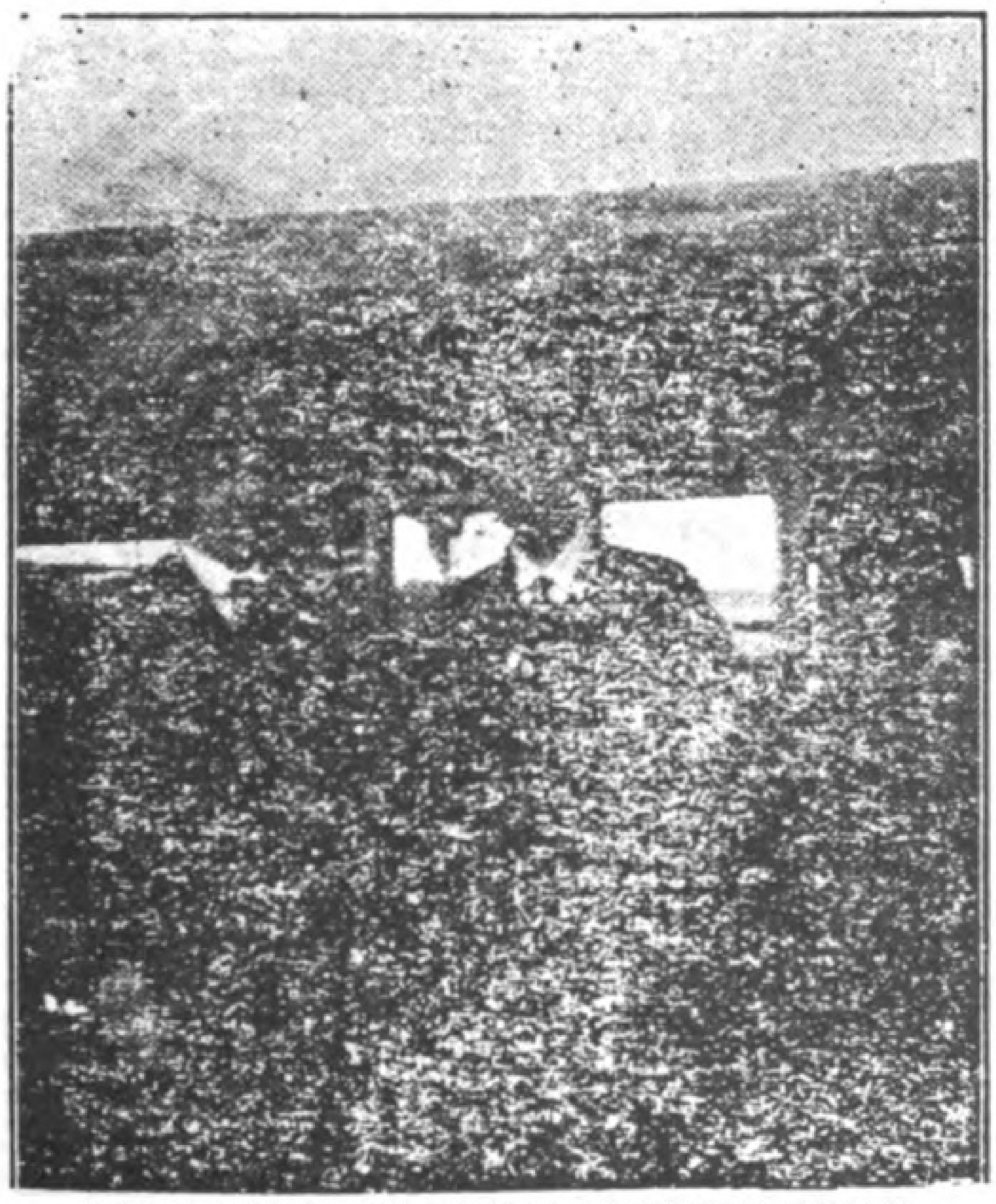
廿二日―（一八六三年）ドイツ勞働組合總同盟創立さる。

廿二日―（一八七二）ドイツ社會黨大會ゴータに開かる。

廿二日―（一九二三、佛軍侵入に反抗して、ルール地方に同盟罷工勃發。

廿五日―（一八七六）ラッセル及びアイゼナッハ派合同してドイツ社會民主黨を創立。

廿五日―（明治十五年）樽井藤吉、赤松泰助等東洋社會黨を創立す



「戰へ」主催の講演旅行隊

[illegible]（寫眞は廿日午前八時東京驛ホームにて出發の猪俣（左）石川（右）の兩氏（松下氏は病氣の都合で遲る。）

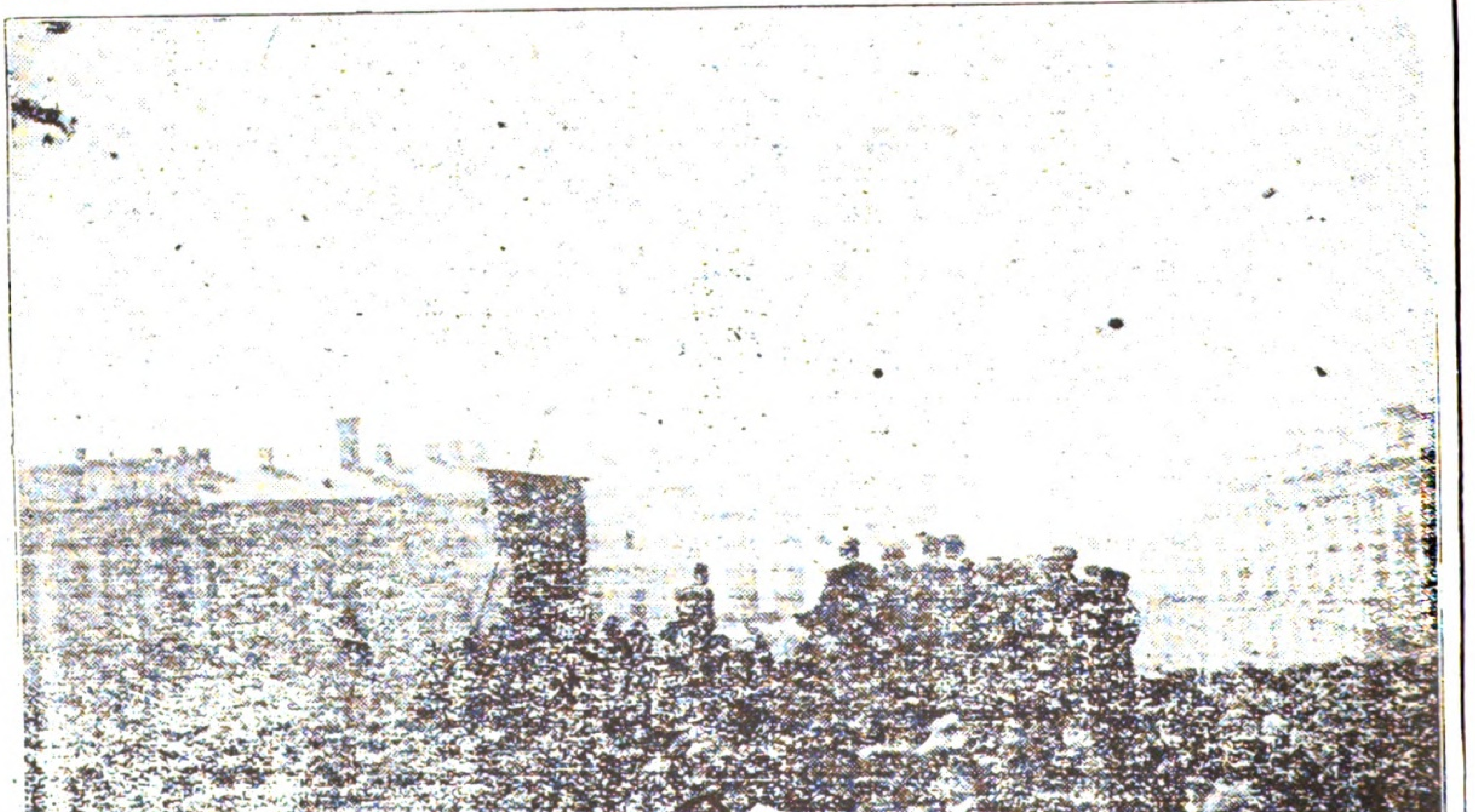
メーデーの起原と意義

メーデーの起原

メーデーは全世界の勞働者の團結と友愛のシムボルである。其の起原を尋ぬるに、一八八〇年米國に於ける勞働者が「八時間勞働の實施」をモツトーに、猛烈なる運動を資本家に向つて開始した事に端を發してゐる。當時アメリカに於ては全洲至る所に該運動貫徹のストライキが頻發し、ために政府及資本家が其の鎭壓のためあらゆる手段を講じたが遂に如何ともする事が出來なかつた。續いて一八八四年には米國全土の各種勞働團體は一齊に立ちて協同の戰線をはり、毎年五月一日を以て八時間勞働實現を目的とする總同盟罷業を決行することゝし、其の第一回示威運動を翌々年の一八八六年に行ふ事に指定した。當日——一八八六年の五月一日——は來た。全米のありとあらゆる勞働者は一齊に仕事を中止し、「八時間の勞働、八時間の休息、八時間の教養」獲得の要求を資本家につきつけ街の廣場を練り歩いた。この結果、五月一日から僅々數日間に、十二萬五千人の勞働者が八時間勞働を獲得し、更に一ケ月後には、二十萬人の勞働者が同じく該制を獲得し、かくて最初のメーデーは大勝利の裡に終り、これより後メーデー(五月一日)は永く北米勞働者の記念日となつたのである。越えて、一八八九年、巴里に生れた國際社會黨(第二インターナショナル)は、爾後メーデーを以て萬國勞働者の、國際的提携と階級的一致とを表示するための總動員日と定めたのである。そして、その決行は翌一八九〇年の五月一日に於て行はれた、これは卽ち國際的メーデーの起原である。この最初のメーデーには、八時間勞働の實施、常備軍の撤廢、戰爭に反對する戰爭」の三つが標語として選れたが、爾來國際的メーデーは今日に至る迄三十五年の歴史をもつてゐる。其間、年々或は國情を異にるする事によつてその標語も多少の相違があつたが、大體同一步調の下に萬國の勞働者が一齊に立つて示威の運動を繼續して來たのである、爲に、一八八六年のシカゴに於けるメーデー、フランスのフールミーに於けるメーデーの示威行列等には多くの無辜の勞働者達は、官憲及軍隊の彈丸のため血祭り供せられ、虐殺された。吾等はメーデーの來る毎、之等階級戰の途上に斃れた幾多の無名青年の尊くも痛しき犧牲を悼むとゝもに、その血潮の輝きに近づきつゝある黎明の光りを想ひ浮べるものである。

メーデーの意義

かくしてメーデーは生れ、かくして吾等の日とはなつたのである。然して吾等は未來の社會を吾等のものとしなければならない。歴史は幾度か繰り返されようと、吾等にとつて此日は永久に忘れる事の出來ない、追憶と希望の日である。何が故か、それは萬國の勞働者が休業を斷行し、一齊に立らて敵資本家の前に吾等の組織的鬪爭意志を表示し、併せて勞働を祝福をするの示威の日である。歴史的意義並に本來の目的は國際的階級意識の高唱にあるが、又一方には、國内的勞働者階級の實際的經濟行動乃至政治行動の手段としても意義を有するのである。卽ち國際的並に日本的に勞働者の團結を促し、階級的意識の下に。友愛と協同の戰線を約す握手の日である。萬國の勞働者よ立て!(小助)(寫眞はロシアのメーデー)



端書回答

(説明文)

メーデーは近いた。日本は今年で六回目のメーデーを迎へることになる。メーデーの意義も年々一般大衆に徹底して來た樣であるが、でも未だ歴史が短くかつ經驗も淺いので、參加者數から見ても、示威運動の意氣からしても、未だ〱外國のそれと比べものにならない。かてて加ふるに、日本は特に官憲が無理解で壓迫が激しいため充分にメーデーの意義を奏すことは出來ない。ために本社では、左記の問合せ文を各方面に出して意見を徴した。

(問合せ文)

メーデーに對する貴下の希望乃至批評を寄せて下さい。外國のメーデーを見物したる經驗あらば、その感
特に結構です。

自覺してメーデーを祝福せよ

小川未明氏

メーデーは勞働者の祝日であり搾取される者が、搾取する者に對する示威運動の日であります。全國の勞働者が同一の步調を取らなければならないのに、それが出來ないのは、自覺の足らない事を證するものです。せめてこの日は工場に於てだけなりとも、主義主張の相違を問はず、みんなが兄弟の親しみをもつて、祝福せんことを希ふのであります。お互の愛これだけが力であります。

官憲の横暴を呪ふ

布施辰治氏

私は外國のメーデーを見た事はありませんが、日本東京のメーデーは毎年之を見て居りますが、無産階級の祝日氣分よりも官憲の横暴を呪はずに居られない憤慨の氣分の漲らすものが、日本——東京のメーデーだと考へます。

檢束されないやうにやれ

梅津四郎氏

經濟界好況の時は鬪爭氣分を充溢させべく盡力するも惡くないが今日の如き不況時に於てはあまり表面の鬪爭(警官等との鬪爭)等はさけ、なるべく檢束等はさけたい。

不況時に檢束などされて一日でもパンの時間を空費するのは我々勞働者には經濟上非常に損であるから——

新しき標語として 惡法撲滅 足並揃へて行進せよ

帆足理一郎氏

メーデーの行列には隊伍を組み足並揃へて行進したいと思ひますこれは單なる形式ではなく團體的訓練を象徴するものであるからです。烏合の衆では團體的行動の權利を主張する資格はありません。

威力を示せ

鈴木厚氏

五月一日、この日が來る毎に自分は、組合や思想團體やその他のものを含む臭い意味の社會運動が日本ではまだ非常に微力なのを考へさせられる。金を山程持つてゐる人と雖も、金で勞働者を買へない時は、自動車にも乘れないし、何にも食へないし、どうにもならないものだ。金ではなく、人間の働きが尊いものだ。このことをこの一日だけでも一度だけでも金持に知らせる事が出來たら、社會全體がもつと利巧になるだらう。勞働者を尊敬する樣になるだらう。

全國の電車を駐めて見度い

松下芳男氏

メーデーの日、タツタ五分間でもいゝから、全國の電車を止めて貰ひたい。

だれないうちに示威行列をやれ

新居格氏

昨年のメーデーに山王台に行つたその時の感じ。無産階級の日の意識、戰ひの意識、勝利の日の新な豫覺。演説の順番が進むにつれて力が湧く。そうした時に行列を出したい。あまりに多くの演説をきいてゐるとだれて來る。だれない中に示威行列を進行させる事

メーデーはバロメーター

佐野袈裟美氏

日本のメーデーが年々盛大になつて行くことは實によろこばしいことである。メーデーは勞働運動の發展を示すバロメーターである今年のメーデーにだけは東京では

旗の下に

渡邊信義

俺達は團結しなければならぬ。團結して、そして鬪ふんだ、俺達には、これがある。これ、これをもつて鬪ふんだ。

四邊の空氣に眼にみえない激しい振動を與へて、颯と振り上げられた逞しい筋肉の盛上がつた日に焼けた腕が叫ぶ。

この腕のある限り俺達は鬪ふんだ。彼奴等が全滅する迄鬪ふんだ。ブルの一匹でもゐる限り鬪ひを續けるのだ。

振り上げられた腕が下がつたかと思ふと、底力の籠つた聲が卓を叩く。

資本主義の城壁に身を持つて打衝かり鬪ふ強い一つの意志が、赤い血潮の渦を卷起して、燃え上がる。

だが、その炎は、ただ其れ一個のもののみではない。彼が立つ演壇を取卷く數千數萬の大衆も、一齊に燃え上がつてゐるのだ、一つ〱猛り立ち燃え上がつてゐないものはない。皆んな、憤怒に燃えてゐる。資本主義を呪つて燃えてゐるのだ。みろ、その一つ〱の炎を、數千數萬の火柱、それはブルジョアの搾取に反逆する火柱だ、[illegible]だ、[illegible]る火柱だ正義の火柱だ、眠るものは黒烟を上げながら、醒るものは青い炎を揺らめかしながら、燃え上がる無産者の熱火ーそしてその炎の一つ〱が集まり融け合つて、一大火柱となりメラメラと燃え上がるところに[illegible]——[illegible]。資本主義の濠壁を毀せ、全無産階級の大衆は、[illegible]、高く烈炎と輝く——この旗の下に、如何に多く

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

市町自治會が全部參加することになり、二三時間でも東京市の電車をぴたりととめてしまふことが出來たらと思つてゐるのですが、これが出來たら勞働者の威力を如實に示す事が出來る譯である。

目的への一里塚

神近市子

無產階級の解放と云ふ事は勿論一日も忘れることは出來ないのですが、特に一日を記憶して目的への一里塚としてある事は大いに意義ある事です。メーデーに出づると共に、一方ではメーデーを祝ひ團結心を強くし、必要な戰術を談ずる日として各個人がそれぞれの活動するもよいと思ひます。

一般に分らせたい

室伏高信

メーデーの意義をもつとよく一般にわからせたいと思ひます。

白人と別個の勞働祭を起せ

白柳秀湖氏

有色人勞働者は國內の資本家から搾取されてゐると同樣に、白人國家からも國際的に搾取されてゐるのです。

有色人勞働者が白人勞働者の尻馬に乘つて彼等のすることをそつくりその儘眞似るのは餘りに無意義ではないでせうか。吾々は一つ白人勞働者とは別個な勞働祭を起さうではないか。

嚴肅にやれ

山川亮氏

メーデーは單なる無產階級の祝日があつてはならない。それは無產階級者の階級的團結と威力とを、民衆の前に宣傳すると同時に未來社會に對する希望と鬪爭意志とを新にする爲の、嚴肅な日でなくてはならない。○○後の社會ならば知らず、今日の如く資本主義下の日本では、この事は最も痛切な事である。メーデーの演說會もなるべく實際問題に觸れた批判演說であつて欲しく、示威行進も勝手な歌を勝手に唄ふ様なものでなく、秩序立つて整然とした行進であつて欲しい。眞に底力のある堂々たる示威行進を希望するる、もつと力強い規律を用ひてもよいと思ふ。同時にメーデーの指揮者は警官隊の勝手な引拔きに對しても嚴重な方法を講じてもよいと思ふ。

此の日丈は共同して

日本農民組合山陰聯合會

官僚幹部派も刷新派も、總同盟も組合同盟も官勞も海運も、勞働者も小作人も、第二インターナショナルも第三インターナショナルも、無產階級の名の下に(せめてこの日だけは共同して)大示威をやりたい。今年の農民大會がメーデーを否決したことは面目ない。

我が三重縣聯合會では

日農三重聯合會

今年のメーデーには我が三重縣聯合會は、三重縣水平社と合同で三重縣で最初のメーデーを松坂町でやります。松坂の政治研究會、思想研究會等も之に參加するはづです。

年の始めを祝するやうに

日農綴喜聯合會

(一)、一般人が年の初めを祝する様に、無產階級家族に對してこのメーデーを親さしめたい。

(二)、メーデーはすべてこの工場會社(如何に小さくとも)を休業にしたい。

戰鬪的意志を表現せよ

京都印刷工組合

メーデーが無產階級の過去に於ける戰鬪を祝福する日であると共に、新社會建設の途上に於ける俺達の勢揃ひである限り此の日は最も勞働者の戰鬪的意志を表現したい。葬列式の運動ではなくハチ切れそうな勢ひをもつて資本家階級に戰慄と脅威を與へて見たい。それがメーデーに對する俺達の希望です。

あまりに生温い

函館親工會

メーデーに關しては既に諸大家が泡を飛ばして論じたものだ。しかし尚且つ之をお祭騷ぎに終らせてゐる?

俺は部下三萬の勞働者が堂々組合旗を押し立て、隊伍整然街をねり廻ることを幼稚なものだと見てゐる。俺達が本當にメーデーの意義を解した時にアンナ生温い行動がとれるか。俺はメーデーの意義を一般に普及したい。そして諸君と共に熱したいのだ。

鬪ひの日だ

東京朝鮮勞働組合

メーデー!

メーデーは勞働階級の喜びの日、力の日である。吾々無產階級を搾取する資本家階級を〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇、〇〇の日である。されはメーデーを迎ふ我等勞働階級は其の眞の意義を貫徹せんが爲に久しき願望を待つてゐた勇敢力を發揮して〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇資本家階級の耳の同志が斃れたか、階級戰線に無限に斃れた同志の死屍を踏み越え〳〵進められて來た。俺達の叫ぶ眞理は血塗られ築き上げられて來たのだ。しかも同志の貴い犧牲も、まだ酬ひられぬ。否、資本家階級は益々羈絆に俺達に挑戰して來た、治安維持の名により俺達の運動を撲滅しようとする。しかし撲滅せられるものは誰か。彼等の挑戰は、畢竟、撲滅さるべき自己の制度を物語るに過ぎない。「俺達は鐵の如き團結と熱烈火の如き志、決して[illegible]化し政治運動に欺かれて、彼等を支持するやうな結果を招いてはならぬ。町より町へ、村より村へ、俺達の叫びをてつていせしめなければならぬ。そして時機方に到着したならば、ただ未だと首鼠兩端を持し躊躇逡巡する事なく猛然と蹶起しなければならぬ。獨乙や伊太利に於て、同志がこの重大なる時機に當つて取返しのつかぬ過失を犯した事を俺達はよく知つてゐる。俺達もこの轍を踏んではならぬ。それには明[illegible]なる洞察と、そして何よりも大事なものは[illegible]爆發だ! 漢々と不撓不屈の地上を吹き來たる猛風は、[illegible]炎を搖ぶり燃る。血の叫びに驚いたブルジョアの走狗は次ぎ次ぎと妨害を加へんとする。忽ち正義の赤い炎の中に没されて了ふ。そして[illegible]は益々眞赤に燃え輝く。

[illegible]

飽く迄戰はん熱烈なる鬪士の陣は暴風と共に怒號し、咆哮する。—おお、メーデー、全無產階級の力を示威する日だ。否—力を試めすべき總動員の意志のてつていを圖る俺達の日だ、俺達全無產

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

膽を先つ〇〇せねばならない。そして我等無產階級を搾取し壓迫するブルヂョア階級の〇〇をせねばならぬ鬪ひの日であるから勞働階級は〇〇に資本家階級と鬪はねばならぬ。

被搾取階級全體のお祭り

水平社　北原泰雄氏

水平デー、農民デー、メーデーこの三つのお祭りは資本主義崩壞の一里塚だ。然し農民も部落民も工場勞働者も被搾取階級であることに變りはない。

メーデーが無產階級のお祭りである以上、被搾取階級全體のお祭でなければならない。

意義ある全世界の被搾取階級のお祭に、農民組合旗も刑冠旗も勞働組合旗と共に、風に躍る日の一日も早からんことを望んで止まない。

意義ある今年のメーデー

山根積氏

日本に於けるメーデーは今年が第六回目であるが此の日は全世界の勞働階級の閱兵式として無產階級解放戰線の擴大と勞働階級の實力增大の尺度として最も有意義のものと思ふ。殊に今年はわが無產階級解放戰線の上に一大劃期を記さんとする普選と治安の通過した年であるとすれば更に意義あると思ふ。吾人は深く腦裡に刻まねばならぬ今年である。斷固たる覺悟を以てメーデーに參加せなければならぬ。

花咲く野邊に若人の血の燃え滅らしめよ！

心臟は窃に勇躍する

環不朽氏

全無產階級のみ知る、自覺、解放、團結を表現する意義深き歡喜の一日を祝するメーデーに對する希望、批評を充分考へる暇もなくお答へする厚顏の至りですが、要するに列國に先じマーチにつれて粛々と無限の行列、無限の叫びを擧々、祝福の行列、歡呼の叫びを擧げる全露のメーデーと、特權ブルヂョア御用國、日本のメーデーとは天地の差がある大正九年五月初めて日本にメーデーが擧行され今年で六回目のメーデーである。前年までの五回のメーデーは何時の年も解散に檢束、警官隊との大衝突、一大亂鬪の果ては流血の慘事を見た。全無產階級の祝祭日、全國否全世界一齊に產業機關を停止して、而して無限戰のまゝ一大メーデー、大示威運動を擧行して、勞働の價値と無產階級の威力をブルヂョア支配階級に表示し得る日を、無限の情熱を以て私は希望する。

心臟は窃に勇躍する、特に日本のメーデーは空前の滾壯を極むる事であらう。

「進め支局」が中心となつて

水野流血氏

當地はなにしろ山間僻地であり文化の程度のきはめて低い土地であるから、したがつて資本主義的工場も大なるものもなく、其れにともない勞働者の數も少く、一般勞働階級が無自覺の狀態で近代的意識にハツキリと醒めたる勞働者は少く、從つて「メーデー」に對する理解もなく、嘗て、吾等勞働階級の永久に記念とすべくメーデーを擧行した事は今だあつてありませんでしたが。無自覺であり階級意識に目覺めない一般地方の自由勞働者も、意識に進歩したる勞働者の日、五月祭には、勞働を停止し、資本主義的搾取に對する抗議の爲め示威行進し示威の熱血運動に於ける勞働者の流血に新しく來たのか自覺の血が燃えたる農村へも眠れる一般當地のプロレタリアートも社會進化の要求にもとづく自覺したる同志も增々起されたとよび現象であり、今年は「進め支局」が中心となり當町の有名なる下關生寺尾公園を會場とし是れに基まり午前はメーデー大演說會を開催し午後は行列に起ち「進め」支局同人連中が、先頭に〇旗をおし立て驅しつゝ勞働歌を高唱し作ら國際的資本家階級の搾取に對する抗議の爲めの大デモンストレーションを盛大に擧行する意氣込てある。

行列のみでは意義が薄い

倉本晃南氏

五月一日のメーデー、即ち無產階級の祝日に對する、希望や註文などは、低能なる吾々にはお話になる資格はないが、希望の一端を一言します。小生は昨年初めて、當地方のメーデーに參加し、僅かな勞働者のみで示威行列をしたに過ぎぬ。何等の示威をも示す程の事はない、小生の希望は出來得べくんばメーデーには勞働者のみでなく、農民組合員も四月九日の記念日、多數參加し、大示威行列をして地主や資本家に共に示威を示す方が一層の威力があると思ひます。メーデーに全部の勞働者は[illegible]行列のみでは意義が[illegible]の勞働者は休業して示威をあげたいと思ふ。吾々の荷物自働車や、馬車や、[illegible]を連ねて示威する樣では、吾々の意義をなさない。希くは勞働者が休業して示威運動も演說にもしたいと希望して居ります。（岡山縣）（完）

階級の勞働が休止したら、一日でもこの社會の生產が立つて行くか全ブルジョアをして俺達の力の前に戰慄し恐怖せしめよ。俺達は多數だ。しかも俺達の叫ぶものは正しく、眞理だ、未來は俺達に輝く未來は俺達のものだ。斷じて彼奴等のものでない。しかし鬪ひは最後迄つゞいてきに鬪はなければならぬ。萬人が萬人の爲めに働く眞の自由、眞の平等、友愛の新社會を建設する歷史的使命を完うする其日迄俺達は鬪を繼續する。正義をして支配せしめよ！斷じて斷じて搾取者を支配せしめるな。

全無產階級團結せよ！

我等の日　メーデーは來た

物部明

我等の日メーデーはきた。此の日こそは慘忍なるブルジョアの搾取の下に呻吟しつゝある萬國の無產階級は總を拔かれた洪水の如く工場より街頭へと溢れ出し人類の敵資本家階級を呪すべき總示威の日である。メーデーは勞働者の國際的記念日であると共に資本家の國際的會戰である。日本の勞働者は「雲集し凱歌を揭げてゐる時、世界各國の勞働者も凱歌を揭げてゐる。日本の資本家が此の一大厄日の前に戰慄してゐる時、世界各國の資本家も自己の滅亡を知つて戰慄してゐる。日本の勞働階級に祝福すべき第六回メーデーはきた。日本の勞働階級は此の日からは貨銀奴隷の鐵鎖を斷ち切り、專制の桎梏を迫しうした支配階級を、、なければならない。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

「力」の寒暖計 メーデー

佐藤光敏

一

メーデーは近づいた！

我國に於けるメーデーの歷史も未だ長いものとは云へまいが、五年六年は、流れた譯である。

メーデーの意義や歷史を說くにはあまりに重複の嫌ひがあるが、最近、日本に於けるメーデーの歷史を顧つて見ると今亦、今昔の感慨だしきを得ないものがあるであらう。

國際初のメーデーの有樣と、そのまゝ去年に於けるメーデーの有樣とを比ぶるならば其の儀的の差異は遙に當初のメーデーを凌ぐものがあるに違ひない。然れどもメーデーの本質的意義は東西屋の如き、人數の多きを以て誇るものではない。一萬人の案山子よりも一人の生きた人間の方が何れ位役立つか知れない。何年も云ふ如くメーデーの本質的意義は無產階級の偉力を支配階級に威示するに在る。即ち、數的に多くする事は質的にも根絶よくなつて行くべき筈である。然るに、最近、我國に於ける、メーデーの數質的兩方面の考察を觀るに、數的には、確に其の數を加へて來たのである。けれども、質的にはメーデーの眞意義を漸次(？)失つて行くが如く見えないでもない。

二

メーデーの本質的意義を一言にすれば「力」の示現に過ぎない。五月一日に業を休んで、五月一日祭に參加若しくは御祝ひ(？)するだけなら、何等メーデーの意義も糸瓜もない。唯それは東西屋を大きくした行列と見て過言ない。量を增してゆく事はそれだけ「力」の增大を意味するものでなくてはならぬ。即ち「數の力」は此處に生ずる。然れども「數の力」は、「質の力」を除いては成立しない「質の力」は「數の力」に先行する。「質の力」が一つ宛、增してゆく事は、從つて「數の力」を增大してゆく事に外ならない。即ち××的分子が一つ宛增してゆく事はそは自ら「數の力」に迄、及ぼして來る事である。然れ共、軟弱の樣なフラ〳〵分子が——例へは最近の「再方向轉換」論者の樣な分子が——幾千萬幾百萬居たとて、そは前述の「案山子」同然であつて、まだ一匹の「狗」の力の方が遙に優つて力あると云ひ得べきであらう！

三

數的に觀て、我國のメーデーも漸次、其の數を增加しつつある。こは喜ぶべき現象であつて、そは又、勞働組合運動の進展の度を上げてゐる證左である、吾等は例年におけるこのメーデーの益々、盛大ならんとする勢ひを見て喜びに堪えない。されど、全日本の勞働者より見てメーデーに參加する勞働者の數は果して幾人あるであらうか。實に諸外國と比べては問題にならぬ程である。そは只僅かに勞働組合に入會せる分子だけであつて、全日本の勞働者數より見て何十分の一位の割合に過ぎない。從つて數的にも日本のメーデーはマダ〳〵前途遼遠だと云わざるを得ぬ。

然して、一方勞働組合運動の未だ完成せられざる以前に於て、近年、政治運動の聲が急速に全日本を風靡して來た。それと同時に經濟運動——それの參謀本部としての勞働組合——の方面の勢力は漸次、政治運動——それの參謀本部としての無產政黨——の方面の勢力へと轉がり換へされて行つた。然らば、此の無產階級の偉力「組織的の力」を現わす所のメーデーも自ら其の質的部門の方向をもかへてゆかざるを得ぬ。資本家階級に偉力を示すと同時に、直接、資本家階級の護衛機關たる所の國家權力に對して、無產階級の眞の偉力を示せなければならぬ。即ち國家權力を直接、客體とする所の運動に轉がらなければならないのである。そは一切の政治運動を意味する。從つて、メーデーは國家權力に對する政治運動の直接的方面を負擔する所の一主要專門であると云わねばならぬ。此處に於て吾等無產階級は新の重要なる「一日」を最も有意義に最も有價値に而して、敵支配階級の心臟の音を「一日」も早く止めて了ふべく最善にして最大の努力を拂わなければならないのである。

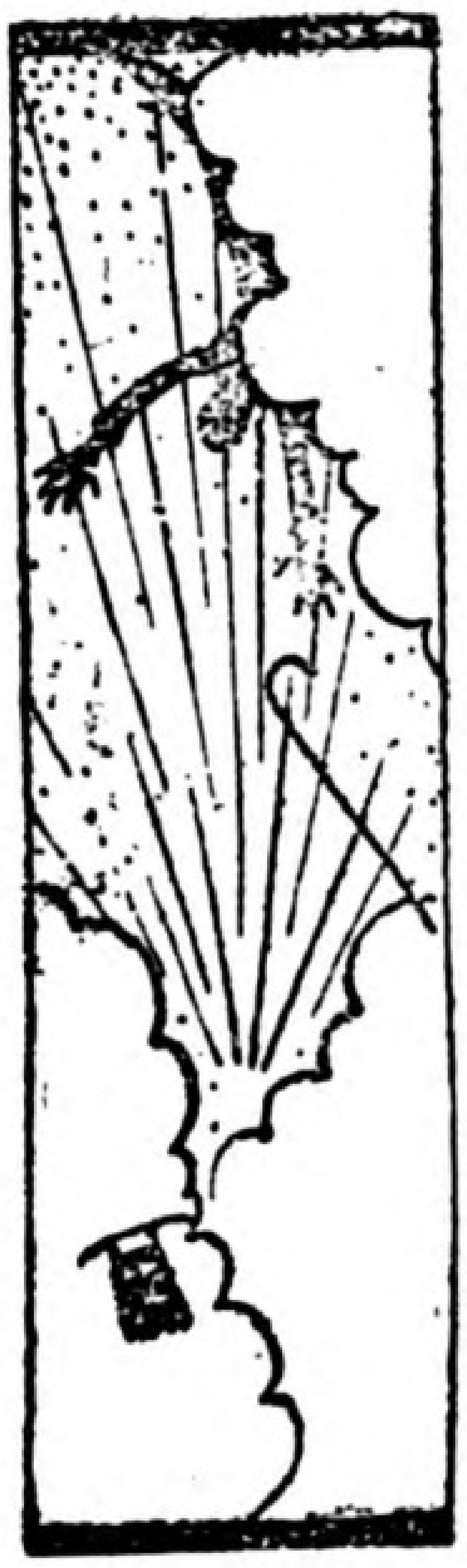
四

今や、去る第五十議會に於て、民衆の意志を蹂躪して成りたる「治安維持法」は布かれんとし、更に又、多年、全日本一般民衆の喝望久しき「普通選擧法」も全身血みどろで漸く通過し、今次の、選擧より施行されんとす。この重大時期に際したる、吾等無產階級の責務は元より重い。而して

運動の諸方面に於ても、次第に困難を加へて來たのである。この新に面したる、吾等のメーデーは此處は亦、何等かの意義なしとせない。無產階級の「力」の總合體として見たる、メーデーは年々、其の質的諸部分又は、戰術方面に於ても、支配階級の態度を常に監觀しなくてはならぬ。即ち、敵の防備、若くは襲の程度を知る事である。

メーデーは近づいた！

老ひも若きも、男も女も、身を無產階級に置く者は等しく、この[illegible]メーデーの下に集まれ「數の力」を增大させてゆくと共に常に——の情熱をもえたぎらしてゆかなければならぬ。即ち「質の力」いや增してゆく事である級「熱」(質と力量)「熱」の無い相撲は幾らやつても勝つ見込がない。それと同時に「熱」があつてもそれに「力」が加わらなければ、●●●よりよい効果は上らない。是を許るに最も適したものは、將に來らんとする、メーデーを置いて他にない！(完)



ゴルキーの「母」に取扱はれた メー・デーの行列

前田河廣一郎

書籍といふものに執着を感じないドグマを作つてしまつた自分は、どんな愛讀書と雖も、よくよくの必要がないと、四方の風へ散らしてしまふ放浪癖を、今でも守つてゐるので、その本もいつの間にか本棚には乘つてゐないが、メー・デーが來ると、きつと懷ひ出すのは、マキシム・ゴルキーの長編小說「母」である。それには、勞農革命以前のロシアのインテリゲンツイアと勞働者とが行つた五月一日の示威行列のことが、例の感傷的な・厚味のある筆致で描寫されてある。あの小說としては、實にそのメー・デーの行列が、事件のクライマックスとして取扱はれてゐるので、（何となれば、副主人公のパヴエルはそれ以來殆ど小說の表面には出て來ないで、彼の母だけが活動するのだから）ゴルキーも、かなりな努力を拂つて、その描寫を活かしてゐたものと思はれる。本が手元にあれば、一章位譯しても面白い讀物になるのだが、茲では單にうろ覺えの記憶を辿る外はない。

青年革命家パヴエルは四五人の堅い同志の人々と秘密結社を造つて、工場の内外に運動を繼續して憲兵や軍隊からは常に注意人物として視察されて居つた。同志の數も殖え、工場主の方の態度も愈々壓迫的になつたある年の五月一日殆どそれまでに續けられてゐたストライキの示威をも兼ねて、彼等はメー・デーの行列を決行する。

最初、彼等の集合所は町の教會堂の前庭であつた。元氣の良い若い者や、老いたる職工や、懷疑的な青年や、熱狂した婦人などが、華やかな日光の下に集まつてその日の催しについて微笑してゐる。やがて、いろいろな人間が演說をはじめる。態度の曖昧な人間もあるが、大部分は資本主義を罵倒して、勞働者の勝利を叫ぶのである行列が始まる。旗を持つて眞先に進む段になると、さしも勇敢な勞働者達も些か尻込みをする。青年パヴエルの一團は、交互に旗を擁して陣頭に立つて進む。街を步いてゐると、いろいろな勞働者が隊伍に參加して、見たところ非常な人數となつてしまふ。

「軍隊がゐる！」

かういふ低聲の警告が、誰の口からともなく一同の間に異常な神經の緊張を覺えさせる。街をいくつも曲つた。その内に、わいわい云つて附和雷同した人達は、一人散り二人落ちて、先登隊の一團と一般勞働者との間には間隔が出來てしまふ。それを知り乍らも、先登隊の一團は、高らかに革命歌を歌ひながらずんずん進んで行く。しかし、先頭隊の内からも、二人三人と落伍者が出て來る。終に一團は、ほんの六七人にしか過ぎなくなる。だが、この六七人は、もう極度に感激してゐて、全ロシア帝國をも恐れないやうな氣持で押進む。

果して、先方には、附け劍をして一團の軍人が、意地の惡い士官の指揮の下に、牙を鳴らして待ち構へてゐる。流石に、ぎよつとした一團は、旗の下に固く密集しながら、それでも互に心を激ませてぐんぐん進んで行く。號令が掛る兵卒等は、猿臂を伸ばして旗を奪ひ去らうとする。それを奪はれまいとして人達は爭ふ。忽ちそこには烈しい格鬪が演ぜられる。旗はずたずたに寸斷されて、旗竿は二つにへし折られて路傍へ捨てられる。

それでも猶、青年パヴエルは白熱的に熱し切つた心持で、悠然と進む。彼は、同志の二三人と共に呑まれるやうに軍人と軍人との間に包圍されて、泣き叫ぶ殘餘の群集を看みて、また高らかに革命歌を唱ひながら何處かへ拉し去られてしまふ。

それをあとから從いて行つたパヴエルの母親は、片時も眼を離さずに見まもつてゐたが、終に、その折られた旗竿を杖に家へ歸る。その時から、彼女の母として子を愛する氣持には、はつきりと、息子の仇敵の何ものであるかを探り當てたやうな自覺が加はる。

これだけ話したのでは、その場の入組んだ光景が讀者の眼の前に浮んで來ないかも知れないが、この一章だけでも自分は、メー・デーに關する小說的描寫として、他にその例類をまだ發見しない好個の讀物であると思ふ。猶この小說にゴルキー全集のうちの一卷として邦譯されてある筈だから、便宜のある人は誰でも讀めることと思ふ

自分がアメリカにゐたといふので、しきりにアメリカのメー・デーのことを書かせたがる癖が「進め」の編輯者にあるやうだが、自分としては、アメリカの勞働「將軍」の統率した、組合徽章とリボンと野心の骸骨のやうな行列を百遍見たところが、些しも興味を感じない。寧ろその都度、「ゴムパースに死を與へよ！」と叫びたくなるだけである、といふことを附け加へて、編輯者の先潛りのやうではあるが、注意を、寧ろロシアの小說の一章に轉じて置き度い。

女子とメーデー

糸川くに子

◇メーデーは世界に散在する貧しい勞働者の日であり無産者の日であります。日頃から資本家と男子との二重の壓迫を受けてゐる私達かよわい女性はこの意義深い一日を男子の方より一層慎重な態度を以て紀念し、參加しなければならないと思ひます。しかるに多數の婦人の間には未だにメーデーの意義が徹底せずにゐるのは非常に殘念な事に思ひます。

◇今日までメーデーの示威運動に參加しなければこの光榮ある日を祝つたものでない様に考へておられる方が大分ある様ですが、それは大變な誤解ではないでせうか。尤も示威運動に參加する事が出來

（十六頁下段へ）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

地球の回轉が止つた樣な
巴里の勞働祭
—一九一九年巴里メーデーの憶出—

小牧近江

永いパリ生活の中で一番記憶にのこつてゐるのは何といつても一九一九年のメーデーだ。一九一九年といへば、大正八年のことだから、當時の日本の運動から推しても察せられるだらう。もう當分あんな時代が二度と押し寄せて來ないのではないかと、悲觀される位全世界を通じての、革命運動の瀰漫の時代だつたのである。遠く古い頃の話しは別として、あの頃の運動ほど眞劍な、そして活氣づいた時代は先づないと思ふ。表面上ばかりでなく、全くあの頃は勞働階級の天下には明日でもなるかと思はれた。いや、それは無産階級のみが、かくと信じた許りでなく、その頃のブルジョア階級も、あの頃の機運には相當の不安に打たれてゐたことも亦實であつた。恐らく世界の反動運動が結ばれた形になつて發生しかけたのも、あの頃からではないかと思ふ。

それに、一九一九年のメーデーは講和會議の眞最中だつたのである。世界中の政界の巨頭がパリに寄合つてゐたのだ。その年の六月廿八日になつて、やつと對獨講和條約が締結されたのだから、五月一日といへば對獨の談判ばかりでなく、やれフユメ問題やその他で中々議論の沸騰してゐた頃である當時聯合諸國の政治家はプロレタリアの利害などはそつちのけに支配階級の懸引の盛んな頃だつたのである。そして、表面ではともかくも恒久平和とか何とかいつて、ブルジョア國家の聯盟である國際聯盟の規約を論議してゐた。何のことはない、フランスの代りに、こん度はドイツを掣肘しやうとする、百年前のウインナ會議の蒸返しのやうだつたのである。ところが、一九一九年のパリ會議は一八一五年の維納會議よりは多少進歩して、世界平和の確立といふものは、國々同士の國際信義の申合せだけでは足りない。もつと進んで社會生活の土臺となる勞働階級を何とかしてやらなければならないことに善かれ惡しかれ氣づいた。蟲のいゝ話である。五箇年に亙る世界戰爭は交戰各國を通じて千萬人以上の死傷者を出してゐる。そして、その過大の犧牲を拂つたのは各國とも、いはずと知れた無産階級だつたのである。それを、列強の政治家は蟲のいゝことに、勞働階級を保護改良してやるといふのだ。ブルジョア國家が勞働階級を保護してやれば、それで勞働階級は滿足するものであると、そう思つたのである。國際聯盟規約にかの勞働篇が入られることになつたことは御存知の通りである。それで階級鬪爭もなく天下泰平と、そう自惚れたのである。

そこで、果して勞働階級は、ブルジョア階級の保護と餘計なおせつかいで滿足するかどうかの證據になつたのが、パリーのメーデーであつた。一九一八年のパリーのメーデーはブルジョア政府の會議が偶々パリで開催されてゐるだけ意義深いものであつたといへやう。ところが、「御冗談でせう、まア見て御覧」とそう、世界の大政治家の面前でたんかを切つた許りか、尻を捲つて見せつけたのが、この年のメーデーなのである。

さてフランスの總同盟も今のやうに分裂もしてないし、戰後初めてのメーデーといふので凄じい前景氣だつた。それに何しろ、その頃のC・G・T、は五十萬からの組合員を擁してゐたのと、要するに、前々から周到の用意をしてゐたのだから、その年のメーデーと來たら中々眼醒ましい示威運動だつたのである。

だもんだから、その時分のブルジョア新聞と來ては今にも市街戰は愚か、革命でも起りそうなことを大々的に書き立てるんだから、その物騷さつたらない。クレマンソーの政府は、とても警官隊の警備位では不安と思つてか、パリ市外何箇所かに、何千人かの軍隊を配置したと傳へられた。その物々しさ。商店、料理店一切が休業するとあつて、パン屋は前々日から人混みの狀態である。家族、下婢ホテルのボーイまでこの日は働いてならぬとあつて、ほくほくものである。一切が休止、地球の回轉が止まつたやうなものである。

ホテル生活者に當日が來た。朝飯の時である。まづ新聞が來てない。これで先づ世の中は暗である。次ぎに朝めしを取らうとしたけれど鈴をおせばとてボーイの來るものでもなし、況して、パンは天から降つては來ない。たゞ水道の栓から水だけ出て來る。ふと、窓からヴアンドームの廣場を見てると、一臺の自家用自動車が數名の示威運動者に取卷かれてゐる。轉覆されまじき形勢である。勞働してはならぬ日だ。運轉手が主人の自動車を動かしたが惡い、謝ろ。さすがの廣場も、勞働者ならでは人つこひとり通らぬ狀態である。市街自動車、馬車は勿論、電車・地下鐵道、動くものはばつたり。一切の交通機關停止のパリは淋しい。樂々と縱橫自在に歩ける、大道に大の字になつたところで引れつこなし。それから、僕はパリでも一番賑やかなオペラの廣場やパリの銀座である、グラン、ブールヴアール街に出た。むろん、一家だつて店を開けてるところがない。街はまるで死んだやうだ。が、それで、ざわめいてゐる。大集の通つた跡だ。

——若いのが殺られた。

といふのを聞きつけて、見物人までぼつぼつ、出て來てゐる。五月にしては薄ぐらいどんよりした

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

日だ。あすこら一帯はプラタスの並木大路になつてはゐるが、今日に限つて不思議に黒い。

――○君、あの人集りは何だい

そういふのは、昨日からうした、パリを見歩いてゐる某名士である。

――さて、何でせう？

と、駈けつけて見ると、囲まれたシャツ姿の血走つたのが、街頭のベンチで腕を捲り上げて演じ立ててるのではないか。

――兄弟、若いのが、今先刻そこで殺られたのだ、アドレェヌ寺院の前で、いつたんは騎馬の奴らに喰止められたがさ。わつしよわつしよで、洪水のやうに崩れこんだが、丁度そこの角で、また一ともみもみ合ふそのうち何處からか知らねえが、はあんとすさんだ小響きがしたかと思ふと前の若いのが時計の弛が切れたかのやうにはつたりとのめつた。と、思ふと……この、畜生お巡りの奴らはいい氣になりやがつて、戰爭の日から用もねえ鉄砲を腰にしてゐるが、あれや、お前たちは氣づくめえが、勞働者をぶつ殺すためなんだぜ。こうなつちや、俺たちには勞働時間も賃銀も問題ぢやねえんだ。ブルジョア階級の……俺たちは仇をとるんだつ。復讐！ 鐵砲でも盗んでも來いだ。俺たちは遮二無二突貫したんだ、おい兄弟、俺たちはガール・ドュ・ノールとガール・デストを占領したんだぜ。パリの咽喉である二つの驛が、完全にプロレタリアの手に歸したのだ。そして、汽車は全線を通じて一分停車した！

この絶叫を聞いて、誰れも彼も――見物人もが、思はずどよめいた。

この時、すかさず鳥打を阿彌陀かぶりの腕白小僧、

――「民衆の聲」たつた一つしか發行されてない勞働者の新聞！

と、柄にもない大きな聲で呶鳴つたものだ。組織そのものである小さなパリーツ子。言論機關は勞働階級によつて初めて獨占されたのだ。今日に限つて讀みたくとも讀めないブルジョア新聞の愛讀者。僕はフランス總同盟機關紙「民衆の聲」を手にした時ほど、メーデーのたのもしさを感じたことがない。

その夜、僕はホテル・コンチナンタルに招ばれてゐた。第一流とはいはれないまでも、二流と下らない華美を極めたホテル、音樂と、女なしでは夜の明けぬホテル。我等はそこの賓客なのだ。

――どうも暗いね、どうしたといふんだらう、今夜は。

そう口を切つたのが、このホテルに宿泊して今夜僕を招んでくれたIさんだ。

――そうですね、大分日も永いやうですが。

と、僕は如何にもお客さんらしく、おとなしく答へる。しかし、肚の中で可笑しさをこらへてゐるそして朝からお腹がぺこぺこの僕は、もし、今晩にもまた食にありつけなかつたらと内心心配してゐるのだ。そうしてゐるうち、蠟燭が、あつち、こつちと點されて來た。燭臺も古風であるし、それが壯大優美を極めた大食堂に反映して、その美しさワツトーの油繪でも見るやうだといつてしまへばそれまでだが、頗る食物が鼻に入らぬ程度に暗い。が、料理だけは白い大きなテーブルに盛り飾られてあるから、先つやれやれとやつと胸を撫でおろした。が、それでは酒は？ と、こんな風に人間の慾望はつぎつぎと起るものであるむろん、ボーイがゐない。支配人と高級事務員入り代りの給仕であることに、わが招待者は、初めて燈火の無いのも發覺するところ、今朝來のメーデーの延長であるに氣づかれたのである。そして、

――新聞の無いのはフランス語を讀めない自分には大した苦にもならないが電燈の無いこれには參つた。

と、これにはいかにも弱つたらしい。何しろ乗物がない位のことは、一日引籠りさへすれば、それで濟むのである。パンはホテルであるだけ食はせぬわけはない。さて、電燈が消えても蠟燭ですませはそれまでのやうだが、金の自由になる身にとつては、何となく世の中が消えたやうに思へるに異ひない。僕なんかには少し位暗くとも勘定の心配がなく飲み且つ食へさへすればそれだけで大滿足であるがなあ。

――君、動くものが一齊に停つたり、明るいものが暗くなつたりすると、變な氣持ちになるね。いろんなことが考へさせらるよ、

そういふのがIさんである。

――が、明日になれば平日に復さすると思へば、一日位てはまたけろりとなるんでせう、要はこの狀態が、十日なり一週間なり續くとすると、話が又別になるでせうがね。

と、僕は僕ともない如何にも哲學者らしくいふ。

――そうすると、革命騒なり、勞働騒なりを獲ふ位てはメーデーまだまだ序の口で、壓迫の數に入らなんだね。

――が、それにしても、日本では秩序整然として獲を獲ふ位てやかましく取締るといふぢやありませんか。

――それがさ、萬世そういつた調子だよ、日本といふ國は僕らの考へぢや、考へ方によつては、日本のブルジョア階級反省の意味からいつても、今夜のやうなかうした見せしめをしていいと思ふがねそれによつて日本のブルジョア階級は、勞働階級が欲すさへすれは何だつて成し得ないことのないことを手短に呑み込むだらうし、そうすれはまたいろいろと反省やら警戒やらすることもあらうと思ふがね。

先刻まで踊がりを心よく思つてゐたわが招待者は、一杯の酒に調子づいてか、案外の上氣嫌である

さて、諸君、プロレタリアに勝てもそんな日が早く到來するといいがね、お互に。

れはそれに越した事はありませんが、それよりも私達はしつかりした意識と心の底から湧き起つた感激を以て、この日を記念する事が何よりだと思ひます。

◇そうした意識と感激の心持ちさへ持つて居れば、必ずしも示威運動に參加しなければならぬものと思つたものではありますまい。三度の食事を造らへる事と異性の官能を充す事がせめてもの女の仕事だと位ひにしか考へてゐない男子でももしその三度の食事を造らへる機械だと云ふ私共婦人がメーデーを期して一齊に食事を造らへる事を止めたらどんなに横着な方でも困らずには居られますまい。私達は決して男子に劣らない強い力を持つてゐる事をさとつて、お互に眞劍な態度で進んで行きませう

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

日本勞働總同盟分裂問題

問題の中心

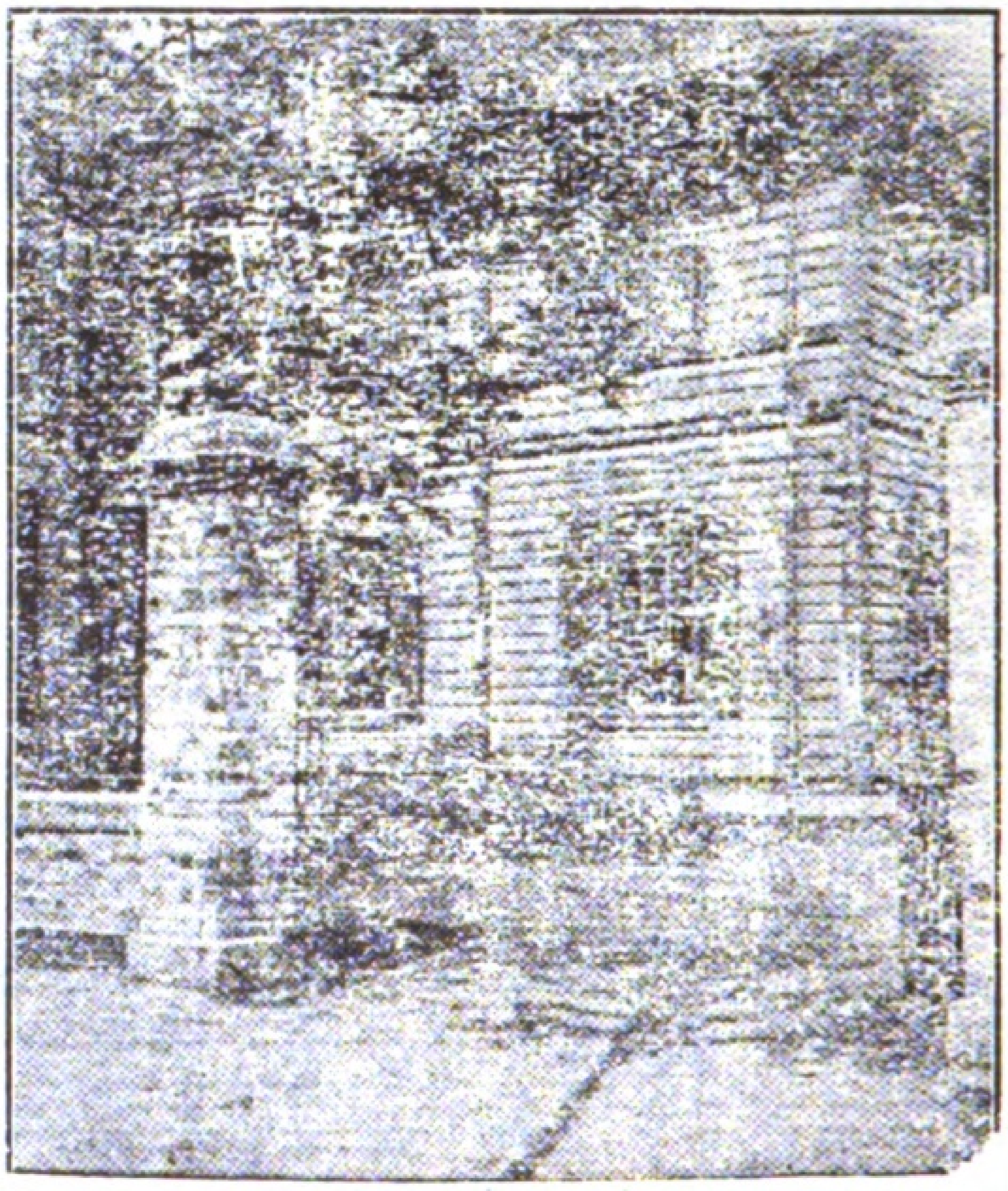
關東地方評議會除名の聲明書

大正十四年四月十六日私は日本勞働總同盟會長を代理して、關東地方評議會加盟各組合に對し、左の除名通告をした。

除名通告

三月廿七日の中央委員會は、四月十五日までに關東地方評議會を解散せしむることを全員一致を以つて決議し、即刻、代表者山本懸藏君に通告して置いた。然るに貴組合等は此の決議を無視して居る。之れ日本勞働總同盟の統制に服せざるものであるが故に、會則第二十八條に依り、今日限り、貴組合を日本勞働總同盟より除名します

日本勞働總同盟會長代理
主事　西尾末廣

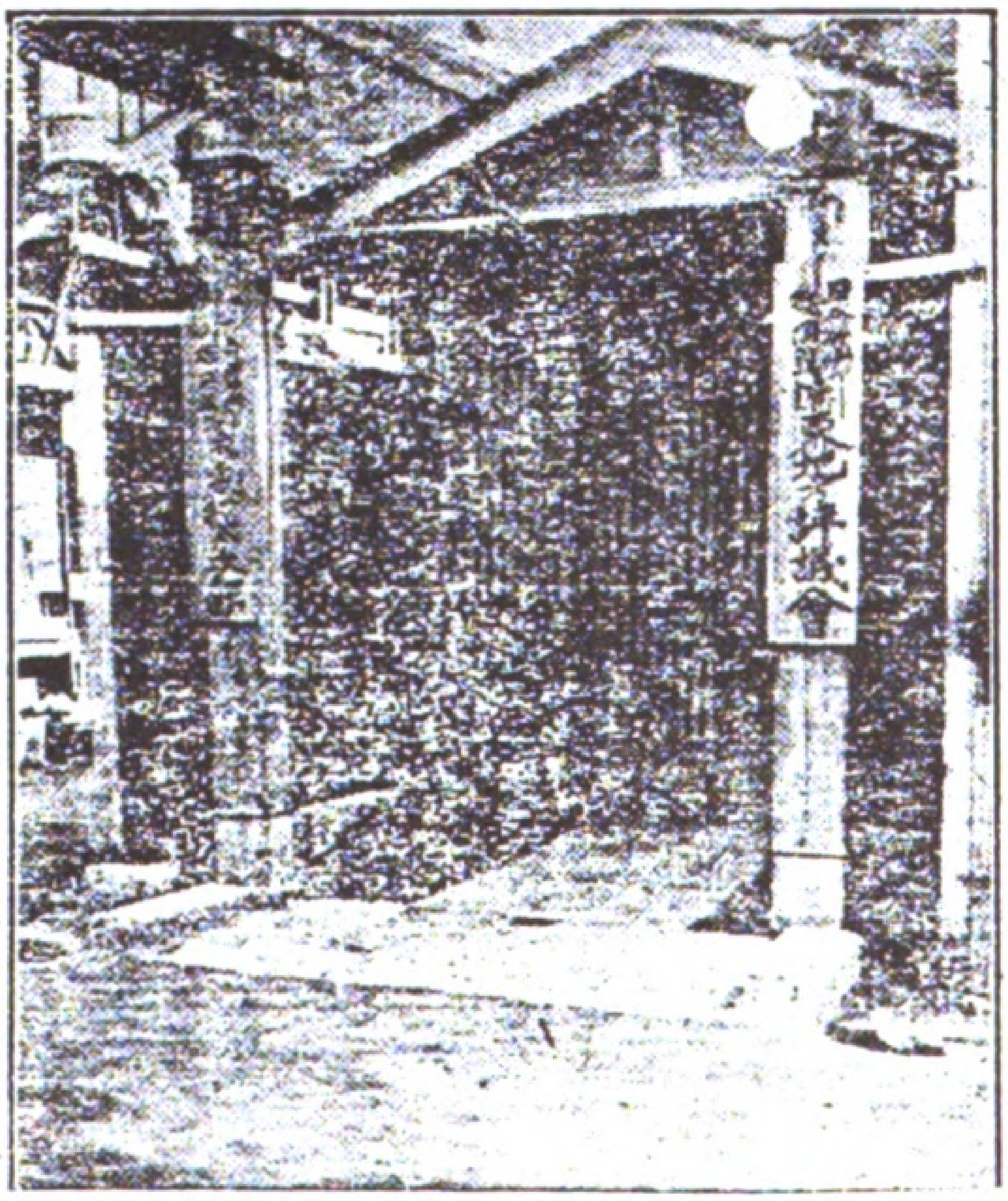


關東勞働同盟會宣言

關東地方評議會の除名處分と我同盟會の態度

我國に日本共産黨なる秘密結社があるか否かは知る限りではないが、一般に日本共産黨と呼ばれる一個の黨派的勢力の存在することは事實であつて、此勢力は各方面に魔の手を延ばし我が勞働總同盟にも此に關し、若しくは之れと通謀する一派が存在し、常に總同盟内部の陣容を攪亂し紛擾の種子を蒔き來つたものであつた。茲に彼等一派の性質と其行動を述ぶれば

彼等は總同盟内に黨中黨を作り、組合外部の日本共産黨系の勢力と策應して總同盟を日本共産黨の支配下に置かんとする陰謀を企み此の目的の爲めには何等手段を選ぶ所なく、陰謀縣辣な方法を以つて、彼等黨派に屬せざる同志の中傷、讒誣、排斥を行ひ、そして自派勢力の擴張を謀り、階級道德も組合の信義も蹂躙して顧みない、忌はしき組合内部の紛擾は此所から生じてゐる。彼等の運動方針は狂燥な病的な革命思想に犯されて居つて、總同盟の着實な現實政策を嫌つて、空漠な小兒病的氣分運動を好み、口に大衆化を唱へながら常に大衆から孤立した自己滿足の運動を行ひ、また一般組合をも大衆から孤立せしむる結果を生みつゝある。ために我等は飽くまで勞働總同盟の宣言綱領の精神を奉じ、我國社會の現實に立脚して、勇敢に健實に所信に向つて邁進せんとする者である。一般勞働者諸君よ願くは我等の運動精神を諒解し來つて戰線に加はられんことを。勞働組合の大衆化のために。（寫眞上、同盟會事務所）



關東地方評議會宣言

除名處分に對する我等の見解と態度

元來、勞働組合は思想團體ではなくて、勞働者が主として經濟上に於ける階級的利害の一致に依り、結束して資本家階級と日常の部分的利益の獲得の爲に抗爭しながら、無産階級解放の終局の目的に向つて、一歩々々進む處の團體である以上、その内部に諸種の思想的傾向を有する者の存在することは當然であり、寧ろ是等を包容する處に組合の本領があるのである。斯ような勞働組合の職分は、其の組合員に思想の自由を許してゐるのである。

然るに異れる組合員の互に異れる意見が充分に、公然と論議から機會が與へられず、或一部の最高幹部の意志のみが傳統的精神として（階級社會に於ける支配階級的思想の如く、傳統的精神として）常に一般組合員に強制され、これに同意服從せぬ者は、悉く組合から放逐するといふが如きは、勞働組合本來の使命と職分を全然沒却し去つた、組合の發達を阻害する處の幹部の官僚主義化であり墮落の極致である。

勞働組合が發展し、運動が大衆化するに從つて如何なる戰術か、何故に採用されねばならぬかは、あく迄も勞働大衆自身に依つて徹底的に論議され、理解せられる必要がある。無産階級運動が、無産階級自身の直接の參加に依つて行はれる大衆運動である以上、これは最も重要な、必要缺くべからざることである。（寫眞下、評議會事務所）

觀念的革命運動を排擊す

日本勞働總同盟關東勞働同盟會 望月源次

一

日本の勞働運動は日本の資本主義に對する戰ひである。それをロシアの革命運動がこうだからとか共產黨インターナショナルの第何回目の決議がこうだからとかいつて、日本の資本主義の特殊的組織形態を無視した運動方針は、飜譯的理論かぶれの御目出たいやり方であつて、そんなものは我國勞働階級解放運動に百害あつて一利なきものである。本當に我國資本主義の現狀にぶつつかつて、惡戰苦鬪して居る僕等の眼から見れば、今度總同盟から除名された關東地方評議會一派のやり方は、まるで「共產黨ごつこ」に耽つて居るやうに見える。

二

彼等は「俺達は共產主義者だ」とはかりに威張つて御座るが、理論だけを頭の惡い知識階級程度に囓つて居るだけで、實際戰術になると全く出鱈目である。昨年十月の關東同盟會大會の時、革命病患者を以て有名な東部合同勞働組合の報告は「我等のよつて以て立つ處のものは、科學的社會主義換言すれば辯證法的唯物論、即ち、共產主義を以て運動の根本方針とする」と大見得を切り、そしてこんなむつかしい理窟を並べることが同報告の大部分であつたのである。彼等は空氣焰を上げて居るばかりで、大組合一つ作つたことも無ければ、勞働爭議一つ完全に解決したことが無い。困難なる組合組織は多く人にやらせて、自分達は出來上つた組合にノコノコ出掛けていつて、共產主義がどうだの、ロシア革命がどうだの、聞き囓りの空論を吐いて得意がつて居るのである、勞働爭議が起これば、これが適切な解決はやらないで、革命裁判だとかなんとか愚にもつかぬ遊戲に耽つて故意に爭議を不利に導いて居る。

三

彼等は口に大衆化を唱へるが、行動は獨りよがりの黨派運動になつて居る。つまり「大衆化」といふ觀念を弄んで居るのである。我等は現實に立脚せざる觀念運動から脫却しなければならぬ。病的な革命氣分に陶醉して、何等着實なる組合政策を取り得ざる不健全分子を、我國勞働組合界より放逐しなければならぬ。

實際運動の經驗も苦勞もしないたゞ頭の中で革命理論ばかりこねまわして居る所謂日本共產黨の人々が、組合本部に自派の分子を植えつけて、組合の政策を操らうとするのは、大それたことであり、日本の勞働運動を誤るものである。理論は理論として我等は切實な運動經驗を基礎として、其の理論を參酌するが、飜譯的理論を其のまゝ鵜呑みにして、妄動する程、我等は子供ぢやない。

黨中黨を作る排他的行動を難詰す

日本勞働總同盟野田聯合會 小岩井相助

一

勞働組合が如何なる理由の下に於ても、分離、或は除名等の擧に出づる事は、重大な事柄であり、忍び得ざる苦痛でなければならぬ。併し乍ら吾等は時によつて、泣いて馬稷を切るの擧に出なければならないこともある。況んや馬稷に非ざる處の彼等の如き組合運動の攪亂者に於ておや。

日本共產黨なる秘密黨が、我國に存在するや否やと云ふことは暫らく別として、彼等の如く黨中黨を作り、黨人に非ざる者が組合運動の重要なる地位に居る時は、極力夫れ等の者を中傷、讒謗、至らざるなき罵倒を浴せて、排除或は撲滅仕樣とする手段は、組合運動に禍害することの甚だ大なるものである。

吾等は彼等が常に一つの鐵則の中に動き、一貫した手段方法によつて、自黨に組する者を總らゆる組合の中に放ち、極力其組合の機關を自黨の黨中に收めんとしてゐるのである。我が日本勞働總同盟が彼等一派の惡辣なる手段の下に少くともあれだけの紛議を釀すに至つた事は、甚だ殘念に思ふ者である。

併し乍ら兎に角も彼等の計畫が遂行されざる中に喰止めることの出來たことは、未だしも幸ひであつた。吾等は今彼等の排他的行動を難詰すると同時に、無產大衆に對して、或は既成組合に對して、再び總同盟の轍を踏まざる樣、間斷なき注意と努力を盡されんことを切に望む。今私は諸君の最も好く知られてゐる事實の二三を擧げて、如何に彼等の行動が勞働組合運

落花紛々

關西天慨生(投)

◆遂々總同盟が決心して胡麻の蠅である堺、山川、荒畑等の子分關東地方評議會等を除名した、實に英斷と言ふべし。

◆この胡麻の蠅の子分共が能く今迄總同盟にかぶりつかんとして居るのは、自己の無能を暴露するものと言ふべし。

◆奴等が組合を作れば、又直ぐ離して四分五裂するのは分り切つてゐる、野郎共は無產階級運動をする柄でもない。月給を頂戴してゐる露西亞本國へでも行つて人足となりとした方がいゝ。

◆大杉が胡麻の蠅だと言つたが、奴等は胡麻の蠅どころか狡さんぺテン、人類社會に生かすべからざる代物だ。

◆露西亞から金でも貰らつて日本の無產階級運動をこわしさえしたならよいと思つてゐる先生はくたばつて了まつた方がいゝ、我々は飽く迄ロシヤブロカーの撲滅を期す。

◆兎角幹部が確つかりしてゐると橫暴と言ひ人が好いと無能と言つて排斥する、これが共產黨の戰術である。

◆日本の共產黨と言ふ奴は大杉の言つた胡麻の蠅(胡麻の蠅とは大杉が大正十年に近藤榮藏を上海へやつて金を數萬圓受取つて來させた、堺山川は此れを人間諸共に橫取りして了まつた)とは蓋し至言である。

◆今日の總同盟の內紛に就いては幹部が惡るいやうに傳へられてゐるが、勞働組合の內訌許りでなくどんな團體でも幹部と言ふ者は第三者から見れば惡るいやうに思はれるものであるが今度の內訌を公正批判して見ると非幹部派の奴等が惡るい。確かに惡い。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

動の大衆化を誤り、禍するものであるかを告げん。

二

大正十三年四月廿日麻布萬盛館に於て開催された、關東鐵工組合大會に於て、時の鐵工主事であつた土井直作君を、共産主義者に非ざると云ふ理由の下に排斥をなさんとし、たま〳〵土井君が本所支部と面白からざることとなるを知つて、彼等一派に組する松尾君は、本所支部と關係の深い仲濱君を通じ、本所支部より大會に於て、土井君の彈劾案を提出させんとしたのである。處が仲濱君は尠少くも主事の排斥と云ふ重大なる問題であるが何等排斥の理由もなく同志である土井君を、大會の席上に於て彈劾することは同志を葬殺し組合運動を誤るものであると云ふので體好く拒絶したのである。其の爲めに大會に於て彈劾することを一先づ中止し、票數に於て極力排除せんとし、八對九の一票の差によつて河田賢治君と更迭し自後鐵工組合の中に不斷の紛爭を招くに至つたのである。

吾等は苟くも勞働組合運動の前線に立ち、解放運動の火中に火花を散らして苦闘してゐる同志に對しては、出來得る限り情誼と友愛扶助の精神とを以て接しなければならない。然るに共産黨員に非ざると云ふが如き、即ち自黨に組せざると云ふ單なる黨派的理由の下に、而かも八對九の危き票數に於て主事の排斥を敢てせんと欲するは明かに排他的行動であり、組合運動即ち大衆運動を攪亂する行爲でなくてなんであらう。

吾等は斯の如きことは、大衆運動の上より極力排斥しなければならぬ。

三

然るに同年十月五日に關東同盟大會の開かるゝに先立ち、專ら暗中飛躍を試み、同盟會の主事、望月源治君及其他自黨に組せざる執行委員を大會に於て排斥せんとし時の關東同盟會長田口龜造氏を通じて、所屬組合を彼等の掌中に收め極力自黨の目的を遂行せんとし先づ野田聯合會を味方に引入れようとし、折柄東京中の岡野、小岩井、小泉、中山の四氏が田口氏病氣見舞かた〳〵訪問せし際、田口氏より現在の關東同盟の執行委員は、一貫した主義を持つて居ない（彼等は自黨に屬せざる者を排斥するには常にこの口實を用ひる）何等主義のなきものが同盟會の執行委員の地位に居ることは、組合運動の將來を誤るものであると云ふ理由の下に、當時主事であつた望月源治君の代りに日本共産黨事件に連座した渡邊政之輔君を推し、同時に出版部長であつた齋藤健一君の代りに春日庄次郎君を推し、同時に關東鐵工組合の問題の爲めに幹部の非難の的となり謹愼中である日本共産黨の杉浦啓一君等を推し、彼等共産黨の一派によつて關東同盟を支配せんとしたのである。吾々は之れを知ると同時に斯の如き排他的行動は、組合運動を危くするも益なきことを知り、且つ彼等一派が國際的組合運動には何等能力なきものであるので其場に於て拒絶したのである。斯の如き過程を踏んで關東同盟大會は果しなくも彼等の陰謀の爲めに大紛擾を來し、遂に今日の如き擧に出る迄になつたのである。

四

斯の如く黨中黨を作り、徒らに組合内に紛擾を醸すことは、吾等の最も唾棄すべきことである。

日本の無産階級運動は益々進展し、其戰線も日と共に擴大されつゝある。吾等は多くの組合員の中に於て共産主義の思想を持つも、敢て之れを排撃せんとするものではない。併し乍ら、苟くも黨中黨を作り、頗る排他的行動をなして毫も反省する處なき者に對しては、斷乎たる處置に出でなければならぬ。此意味に於て日本勞働總同盟本部が、彼等に對して取られた今回の處置は、最も當を得たものであると思ふ。我等は黨中黨を作り、排他的行動を取る者を徹底的に葬らなければならぬ。

—一九二五・四、一六—

階級道德破壞者を葬れ

日本勞働總同盟
東京鐵工組合　齋藤健一

一

無産階級の社會運動が、いずれの國の歷史を見ても、猛烈なる支配階級の壓迫を受けて居るが、殊に我國に於ける運動は、其の特殊的社會事情により更に一層の迫害の裡に在る。

我等はこの困難なる社會運動の戰線に在つて、我等の精神を慰め鼓舞する處のものは、眞に同志間を結ぶ愛情と信頼でなければならぬ。

我々は、無産階級の運動にたずさはる同志の關係が、單なる利用關係に終始することは、新しき階級道德の爲めに斷乎として反對せざるを得ない。

二

◆昨年の十月暴力を以つて幹部を一ヶ月も寝る位ゐ負傷せしめ、神戸其の他においても矢張り正義派を暴力を以つて威壓してゐる、まるで壯士かゴロツキかのやうな奴である。

◆斯んな反動主義者のやうな奴等が社會主義の共産主義のと言つて柄にもないことを言つてゐるが、月々四十圓でどんなことでも引受ける手合だ。

◆溯つて此のごろの親方ごまの蠅の會長山カン均クンは大正九年頃にも總同盟で無智なゴロ共を煽動して鈴木、麻生、朋僞良等を逐ひ出して了まつた前科者だ。

◆クンは雜誌を乘取り、組合を乘取るのがクンの運動だ、クンの兄たるボケ彦先生が近頃株式會社を創立して會社屋になつて御座るからこれもまた、乘取つたら如何なものでござる。

◆さて杉に惚れとつた○○○を乘取りの藝當に至つてはまさに天下一品。

◆三月十五、六、七日堺御大を初めとし、山川委員長、荒畑副總統、德田ゲジ〳〵、北原セツトウ王以下ロシア出店の有給店員約二百名一ノ谷ならぬ青年會館で總同盟と合戰したもの見んごと破れて、除名、日本の無産階級からは全く見はなされて了まつた。

◆聞くところに據ると最近本店の露西亞から懲戒處分に附せられ解雇される由。

◆今迄本店から毎月約二萬圓取藏して二百人居て許りの者が四十圓宛貰つて居つた、これが日本無産階級運動を破壞する、ブローカー費

◆露西亞はレニン逝き、トロツキー去つてより、日本のブローカーにこんなに金を與へて飼つてゐる

◆また來年あたり農民組合も擾らんやうと思ふだらうがもう金バク付は誰れも相手にしまいよ。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

所謂共産主義者と稱する者の中には、かゝる道德的感情を指して笑ふべき感傷的人道主義者とけなし斥け、かくする事が、科學的社會主義者の本來であるかの如くに心得、得々たるものがある。

彼等は一切の人間的關係を「利用價値」の計算に依つて結ぶ。彼等は或同志の個人が有する利用價値を發見し、自己一派の勢力を增大せしめんが爲めに使用すると云ふことが、最高一切の無産階級の道德であると信じて居る。

我等はもとより、資本主義の社會的諸事情を觀察し、社會運動の進路を發見し、戰術を樹てんとするに當つては、嚴正なる科學の精神をもつて、感情的獨斷をさけなくてはならぬ事を知つて居る。されはこそ我等は、日本の無産階級運動の合理的日本化を主張するのである。（然るに彼等が、共産黨に至つては、全く露西亞の經濟者となつて、日本の現實一切を無視せんとするのは奇怪な科學的社會運動者であると云はねばならぬ）

我等は資本主義社會の道德が、偽瞞であり、功利的であり、個人主義的である點からして、無産階級の道德とは、絶對に相反するものであることを信ずる。而しこの資本主義的道德感のことごとくを無産階級の中から放逐すると云ふことは、資本主義制度の現存する限り、到底不可能であるが、日本の資本主義が行詰り、勞働組合に對して決死的態度を採りつゝあり勞働條件の維持改善は困難なる現状に於ては、少くも勞働組合の結束は、經濟的條件の滿足以外に、確固たる階級道德の徹底的普及にある。即ち日本の勞働組合には、絶對的に階級道德の樹立が必要である。然るに自覺せる無産階級の戰士をもつて任ずる者の間に眞に無産階級道德たる、犠牲、共同、相愛、信頼の精神に缺除して居るもの存在することは、我等無産階級の忍ぶべからざる恥辱であるのみならず、日本無産階級運動を停頓せしめ、無力ならしむるものである。

三

彼等所謂共産主義者として勞働組合の中に在るものゝ中には、共産黨をたてゝ、黨閥の勢力を增大せんが爲めには其手段を選ばず、あらゆる詭謀的中傷をもつて、已に不利なる場合は昨日の同志も、今日は死馬の如くに葬るのである。そこには一片の階級道德を見ない。殊にわらふべきは勞働組合の經營する宿泊所にあつて、理由なくして宿泊料を支拂はず、其經營を困難ならしめつゝあるにも不拘、これを以て彼等は當然なる權利であると考へて居ることである。それに對して注意を與へることを以て階級道德の裏切り者であると信じて居る。

四

彼等の中にはストライキに際して、革命歌を高唱し、誤譯の革命論の受賣をする事を知つて居るが、難局に當面し檢束を豫想して一週間も行方不明になつて居た者もある。彼等の道德は分裂して居る。利己的滿足の前には敵も味方も見分けの就かぬ處に特異性が存在するのである。聞く處に依れば、中國共産黨は、京漢鐵道從業員をして、吳佩孚に反抗してストライキを敢行することを煽動し、猛烈なる迫害によつて十數名の勞働者が、斬首さるゝや、行方を暗まし、收まりて後遺族の慰問と稱して金錢を集め、それを使途不明に費消した爲めに勞働者の反感は猛烈に中國共産黨に集まつて居ると云ふ。

五

ロシアの本場は、いざ知らず、何處の國でも、俺は共産主義者だと自稱する者には、眞に無産階級の道德感を持てるものが少いようである。希くは我等無産階級解放の戰線に立てる者の間には、確固たる無産階級の道德を打ち樹てよ。血と涙に依つて試錬さるゝこの道德を破壞するものに對しては徹底的に彈劾せよ。日本共産黨の假面を被つた階級道德の裏切者は實に日本無産階級獅子身中の蟲である。

共産黨の魔手

日本勞働總同盟伊丹支部 柄澤理一（投）

今回の日本勞働總同盟の共産黨系幹部排斥問題の原因は遠く大正十二年九月三十日大阪天王寺公會堂に於て開催されたる日本勞働組合聯合會に發しているのである。

當時の大會に大杉一派の自由聯合派に對して堺一派の中央集權派が大會々場内に於ていかに暗中飛躍をなせるかを見よ。

荒畑一派の鍋山中村の幹事及び高津正道一派の辻井等所謂共産黨系の幹事は全部一室に集り御大堺の號令を服しては議場に臨んだのである。斯くして共産黨の思ひ通り決裂となるや共産黨は盛んに總同盟を蠶食し出したのである。

此の大會が共産黨一派の豫期に反して成立をみるに至らは眼の上の瘤である大杉一派の爲組合乘取運動の自由を得る事が出來ぬからである。

決裂後は盛に總同盟に食ひ入り自黨の勢力を扶殖しつゝあつたものであるが最近所謂共産黨系の幹部中勞働運動者として聞くに耐へざる行動に出て今年一月大阪北區の某所に起きたるストライキの際の如きは公然同志を裏切つて資本家と握手したるが如き事實が有るのである。

赤總同盟內部に於ても常に自黨系外の者を排斥して飽く迄自黨系幹部に依つて總同盟乘取り運動をなしつゝあつたのである。

而して今回排斥除名されんとしつゝある共産黨系幹部の中には一人として最初から勞働運動に投じたる者は無く大半は思想團體より排斥され勞働組合に隱れて今日迄社會運動者としての生命を保つて來たのであつて今回の如き排斥運動の起きたのは當然である。

今度ぞ他のく幹部にして飽迄總盟同を愛する人達は今回の事件を好機會として、自黨自己の利益のみを眼目として蠢く奴等を一掃せずんば此の失敗を再び繰返すであらう。

◆今度の幹部排斥は彼の日本共産黨ある胡麻の蠅が長らく、總同盟は共産黨のものだと言つて露西亞を胡麻化して數十萬圓の金を取つてゐたのがバレタからだとのこと

◆今年の一月カラハンがハルピンで日本勞働總同盟に援助をして居ると言つたのは共産黨を通じて援助をして居ると思つたからである（一月二十日頃の各新聞外國電報參照）

◆共産黨の胡麻の蠅共が幹部排斥の理由は幹部の橫暴と右傾とを攻擊して居るが、地方評議會や寄柿一派が暴力を組合員に加へた事等は、橫暴を通り越して居るではないか、また右傾と言ふがテメイ達の本家ロシヤでは、右傾どころか封建時代の專制主義そのものだ

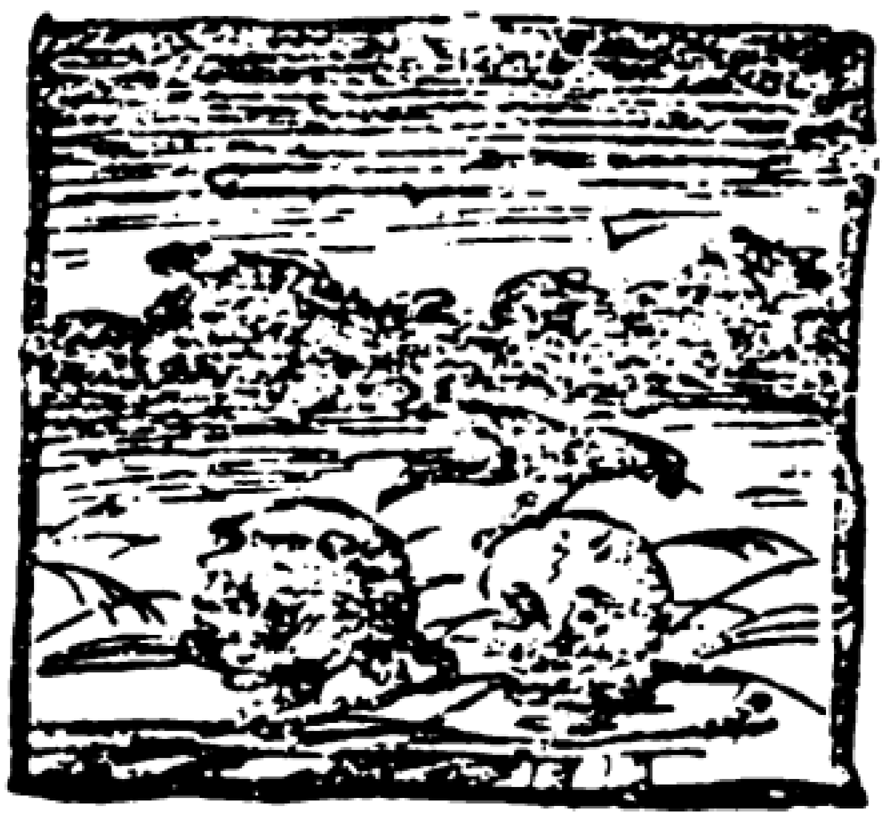
◆露西亞では每年メーデーに勞働組合が盛んになると馬蹄ケチラシて了ふと露西亞歸りの共産黨員が話す。

◆組合を迫害し機關紙を壓迫してザアの時代よりヒドイらしい。これで社會主義共和が聞いてあきれる。マルクスもレニンも地下で泣くであらう。

◆總同盟の排斥するのは共産主義に非ずして日本の共産黨の惡辣なる手段を排斥するのである。我々は日本の現實に立脚して經綸を實行する總同盟幹部が禍根を一掃せる大英斷を賞讃する。

◆インタナショナルコレスポンデンスに山川クンの名前に依つて日本社會運動の現狀と言ふやうな標題で書いてあつた。日總同盟は七萬人あり、共産黨系としてある赤瀾會が三千人でリーダーが高津タヨ、山川菊榮此れを牛耳る」と書いてあつて我々は噴出し、イクラ山カンでも七人か八人か居ない赤瀾會のことをこんなに何千倍に國へ宣傳するとはあきれる。まあ奴のことは大抵こんな物だらう、千に三つもほんとうのことがあるくらゐなものだ。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



進め社便り

九十の春光

今や百花は地に伏し、一九二五年の春光は茲に全くつきぬ。この花咲き、花散るの短かき間に於て我等が「進め」は安寧秩序を紊るものとして續いて三度「其の發賣頒布を禁じ且差押ふる旨」内務大臣より命令ありたり」一方相逢ふの報を受けたり。無災、無産階級に發されしものは惡法と、總同盟の七花八裂。

大正七八年の頃より、花の如く外的活躍をなし來つた、勞働運動界、今や花咲き花散りて醜陋なる內訌紛糾の時代に入りたるが如とし。

この時、評議會も思ひきりよく散る。總同盟も思ひきりよく散れ。然して宿望通りに各々信あることを斷行せられよ。

×

無産階級に分裂型大きい犠牲はあるまい、この犠牲はこの時に廻り合せた者の一樣に負擔すべきものと思ふ。

×

進化は一刻も息止を示さず。

初夏は共に清新を帶びて來たり。無産階級は須らく、分裂のこの期を再び動に移すの前提として、分裂中靜あれ生氣つねに動け。

我が「進め社」の先輩は、兩年來界間、所謂日本共産黨問題なるものの社會運動上に於ける犯罪を指摘來つた。にも拘らず。

彼等はそれに附いて一言をすらなさず、今日に至りたれど、今、日本勞働總同盟は立つて、この度の大分裂の由因は彼等問題なりと全國に檄を散じて彼等の非を鳴らしつゝあり。この總同盟の行爲たるや「進め」の彼等に射たる一矢的に當りたるものと信じて可か。

同志、兄弟もつて如何となす。

學問を喰ひ物にし、智識を濫用し、表面社會運動を指導するが如く見せかけて、其の實自家宣傳の具に供するが如きは、惡もこの上なしと思はれるが。本人はどう思ふてゐられるか、どろか。

古來三春の行樂の終りを悲しむ人物も多い樣だが「春が暮れた」と云ふ感じは、少なくとも春が樂しめた例が無い貧乏な自分に取つては「羽織が脱げる季節に成つたナア」と云ふ程度以上に深い感じはあたへたことがない。故に九十の春光空しく過ぎたところだ當然の循行となり思はれない。殊にチリ盡した花の後へ、新しい青葉の世界が展開される、初夏の氣分は、如何にも鮮明な光りをなげかけるので、花時よりも寧ろ光明にみちた將來の世界に導かれる樣な氣分がする。

花よりも青葉は好きだ。

青葉は花の樣にケバ〳〵して無いだけ、それだけ落ち附いてもをり深かみもあつて、花の人を浮かれさすのに對して、青葉は人に向上を促し、前進を默示せしめる、強い力を握つてゐる。

◆多を越した常盤木は色を増し木には潮躁りが流れる晩春から初夏への自然は、實際、人をして進ませ、躍らせ、勇まてくれる。そこで木と云ふ木は枝を伸し、草と云ふ草は根を張つて、水を含んだ土の色までが、かぐらく光つて強い生命の力が埋屈なしに溢れ出てゐるから滿堪にうれしい。その上風が渡れば、總べての葉は、裏まで返しながら、笑ひながら思ふ存分生命の深呼吸をしてゐる樣で、見てゐても如何にも自由さうで、うらやまし氣がする。進め社だよりに不向だが、皆ながそれはしてくれたと思ふから(渡邊)

駄辯一束

◆正義を得たり、榮名を得たり、戀を得たりなんてあまり蟲が太過ぎる。

◆水を呑んで飢えを凌いでも主義の爲に殉ずる位の覺悟がなくて社會を改革しやうなんてあんまり蟲が太過ぎる。

◆蟲一つ殺さずに大きな社會を改革しやうなんてあんまり蟲が太過ぎる。

◆今更ながら敵を捉へて横暴とさも得意氣に言ふだけに野暮。

◆棚から落ちるぼた餅と必然に來る〇〇を待つだけ野暮。

◆社會主義をかいた奴はやめること、それを今更責めるだけ野暮。

◆力がなければ元氣で行け、元氣がなければ意地で行け、意地がなければ死んぢまへ。死ぬのがいやなら泣いておれ。

◆武士は喰はねど高楊子、主義者は喰つても喰はぬ面。

◆主義者も今はあまたであれば、屁の出るのも無理はない。

◆社會主義界から抹殺する奴もする奴もされる奴。

◆雜誌を出すことを唯一の社會運動の如く考へてる連中、またその雜誌を讀むことを社會運動と考へてゐる連中、もう一寸考へてくれ。

駄辯の後の駄辯

駄辯を吐いてサツパリした氣分になつたと同時に、さて何か仕事をやらねばならないことを切實に感ずる。

紙の上の手捏にも卓子の上の改革にもみんない加減あいた頃だから今度は外に出て一つ働かうではないか、ちやうど今までのバラツクも追ひ拂はれそうだし、所謂目覺めた俺達に何時までもこんな處に引込んでゐるといふことは似合はしからぬことだし、本當に目覺めた生きた人間の新しい生活を見せやうではないか。バラツクのおかみ連の喧嘩なんかには餘り業を煮やさないでさ。(谷口生)

變な夢

◆淀川の河畔に西郷南州の死體が浮び上つたと云ふ人の知らせに、私は眠い眼をこすりながら寢間衣の上へオーバアを引かけて、煤けたカンテラを照らしながら、とにかく國道筋を忙いで往く人達の後から跟いで行つた。日中は煙烟とほこりと雜音でうづまつた國道筋も夜はすつかり靜まり返へつて涼しい風が淀川の方から吹いて來る。

◆淀川の堤防からふと下の方を見ると、篝火の燃え立つてゐる川岸は一ぱいの人だかりだ。私はすこし面喰つて、忙いで堤防から川岸の方へかけて行つた。そして人込みの中を無理矢理に押分けて、前の方へ割り込んで怖々にのぞきこむと太つた男が頭から下を菰で掩はれて横はつて居た。

「たしかに西郷に違ひない。」私はそう思つた。イガクリの頭の大きな額の西郷はドングリ目を空の方に向けてポカンと口を開いたまゝ死んでゐた。――「ハヽア、奴もとう〳〵見切りをつけたと見えるな。」私は口の中でつぶやいた。

◆城山の合戰で、さん〴〵敗北した彼は身を持つて大阪まで逃がれて來たと見える。勝ち誇つた官軍の方は肝心の西郷が見えないので躍起になつて懸賞金までかけて尋ねてゐたのだ。

◆西郷は漸く大阪まで落ち延びて來たもの、警戒の嚴重なのに閉口して、とてもこれでは駄目だとでも思つたらしく、諦めをつけて日頃よくやつて來た懷しみの深い淀川で土左衛門をやつたのだらう。

「西郷が死んだと聞いたらさぞ豚姫ががつかりするだらう。…」

人々はこんな事を口々に噂さしてゐた。わたしは成程と思つた。豚姫が先づ何より可愛相だ。少し水腫れのした、眞蒼な怖しい西郷の顏を見てゐると、何んだか泣き出したいきもちになつた。

◆今まで氣がつかなかつたが、西郷の轉がつてゐる二間ばかり先きにヤツパリ菰に包まれた變樣なものゝあるのに氣がついた。わたしは何だらうと、いぶかりながらその方へ歩み寄つて、そつと菰に手をかけ樣とすると見張りの巡査が驚いて「それをメクツちやかん」と怒鳴つた、併し、怖いもの見たさのわたしは巡査の制止も聞かずにその菰をはねのけた。するとそれは熊の樣な大きな黑い犬がこれもヤツパリ菰をかむしはつて死んでゐるのだつた。云々

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

苦言を讀みて

谷朴秀氏の所謂

在北京　王子言

日本に於けるプロレタリア運動が小黨分立で、統一的な勢力を形成し得ない状態にある今日、三月號に紹介された谷朴秀氏の所謂苦言は稍々要領を缺いた内容ではあるが大いに參考になると思ふ。

然し切角の苦言に反駁と云つた失禮な意味からでなく、私として合點し難い一二點に就て此に一言述べさして戴きたい。

第一は「國際的知識云々」の所だ前後の文章からみて、之れは國際的連絡に對する日本の運動者のナホザリを指さしたものであらうが但し、李、陳氏一派の所謂中國共産黨の程度と性質に於てなら日本の方も却々やつて居ますョと言ひ度い。

勞働運動者の方だとすると成る程日本に於ける今日の状態では僅にゼネバに代表を送る以上に表面に現はれた國際的聯絡の形式は無い勿論日本の勞働運動の現状が内部的準備の過渡期にある結果として進んで這うした方面に努力する餘裕のなかつたにも基因するが兎に角之れは非常に殘念なことである。

然し日本のプロレタリア運動者は現に何れも之れが必要を感じて居る。殊に政治上經濟上其他凡ての點に最も密接な關係にある日支の間に於けるプロレタリアの國際的共同戰線樹立の必要を痛切に感じて居る。氣運は既にこういふ樣に傾いて居る。從つて上海の紡績罷業等具體的な協同援助の要求が續々出て來やうとする今日之れは具體的な運動として遠からず現はれるだらうと思ふが要するに今日までの交際は相互の内部的未熟そのためである一謗に「國際的云々」で一方を叱る譯にはゆかぬと思ふ。

第二は「陳獨秀」氏に關してだ。陳氏其人に就ては今更なにも言はぬ。然し氏をレニンにされたのでは本もののレニンが面喰ひはすまいか？

去る二月七日私は當時滯在中だつた總同盟の松岡駒吉氏と一しよに長辛店で催された京漢鐵道罷工犠牲者の第三年追悼會に列席した。其日私達は「プロレタリアに國境なし」といふビラを用意して行つたが「萬國の無産階級團結せよ」といふ共産黨宣言の結句を其儘最後に引用した爲め之れを幹部外に配布することが出來なかつたのである。此時主催者は氣の毒そうに言つた「吾人は共産主義そのものは共鳴して居る。然し所謂中國共産黨内の不徳分子の爲めには何の位眞面目な運動を阻碍されて居るか知れぬ。彼れ等は罷業の種を蒔くだけで決して勞働者と終始しない。そして不徳な私得を收める。こゝの勞働者間の彼れ等に對する惡感は非常なものである……貴下等の切角のビラも最後に引用した一句の爲めに多衆勞働者が貴下等に誤解あらんことを恐れて敢て之れを配布し得ざる譯に……

「教育の普及した日本では勞働者の頭が進んで居るから主義を賣り物にする者があつても主義と個人とを混同はしない。ところが無智な我勞働者はそうは行かぬ、共産黨の不徳分子から受けた惡印象はその儘共産主義に及んで居て之れを抜き去ることは容易でない。」云々と。

そして罷業當時陳獨秀氏を通じて渡された廣東ノ政府金三萬の援助作戰費氏からの一萬元等の徒に運動費に使用せられなかつたことだの廣東・上海に於ける組合運動の指揮になつた大小の罷業が常に彼れ等のロシア側へ對する手柄の報告となつて居ることだのを説明した。私は一方側の這うした話をいちく信じはせぬが然し日本でも前例ある樣に主義を食ひ物にする不徳分子の爲め無智な勞働者の教育と實際運動の進展が非常な迷惑を蒙りつゝあることは認めるものである。

氏は陳獨秀氏の卓識の側證として陳獨秀は罷工が愈々呉佩孚の劍と肉彈を以て特權階級に向つて勞働者の對峙となつた時、熱烈な傳單で勞働軍を狂奔させると同時に呉を煽てゝ彼れ等勞働者を彈丸の的とした。行爲は惨忍だが結果は如何？今や支那の勞働者は主義者に依らず學究に誤魔化されず、環境に於ける自己の立脚と時代を負ふて立つ勞働者の力とを的確に握つて、一歩一歩國内否世界の特權階級と闘ひつゝあるのである。

云々と擧げて居るが其の後半「結果は如何？」以下に至つては全然氏自身の勝手な言ひ分だと私は思ふ。

支那の勞働者は先天的に地方的な團結力があるのは事實だが無産階級的自覺に於ては殆んど遅れて居る幸ひ幾多の指導者の熱烈な犠牲的努力により廣東・香港・上海・等の都市では勞働運動も漸次組織的となりつゝあり又氏の言ふ如く世界の特權階級に對する旗色も鮮明かになりつゝあるが要するに今は犠牲的な教育と指導を最も必要とし然も其の事業の最も困難な時に際して居るのである。

氏の擧げた陳氏の所謂卓識な行爲……無智な勞働者に惡印象を殘し眞面目な必要な仕事を阻碍する如き……を反共産主義者の苦肉策と見ての巧妙さ如何ならば問題ともなるがプロレタリアの幸福の爲め一生を捧げんとする支那のレニンの行爲として受取れとの要求には私は應じられない。そう無雜作に陳氏がレニンとなれるならば日本などレニンが多過ぎて困る。嫌ひな勞働者は放して置いてはオイコラと來る警視廳あたりの大小スパイなど皆それだ（完）

石川啄木

友も妻も悲しと思ふらし病みても
なほ革命のことを口にたゝねば
◆
石をもて追はるゝごとく故郷を出
でしかなしみ消ゆる時なし
◆

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

今後の無產青年の使命に就て

梅津四郎

一

今後の無產青年の使命をはたす可き將又運動す可き分野を經濟的方面と政治的方面に區別する事が出來得ると思ふ。資本主義經濟組織が强固になり否膨脹するに從つて必然の結果として有產——無產の二大階級が判然と分離され、所謂中產階級（知識階級）が無產階級の域に到達す可きは當然の歸結である。

其の結果としてブルジョア階級らしい生活をなし得た——ブルジョアの生活をあこがれて居たインテリゲンチヤ（浮浪的勞働者階級）は外面的な（外部的裝飾）方面には經濟的不安を感じる樣になつたのみならず、彼等の場所にさへ生活難の寒風が吹きすさぶ樣になつたのである。未だ其れ程までに進まないで居る者も月と年と共に必然に陷落す可きであり又彼等も一個の勞働者であると意識する時代が來るのである。

であるが故に我々は此の階級對立の社會に於て當然我々無產階級に落ちくる否落ちつゝある彼等知識階級を我等は抱擁して同志とし、戰線に立たしむる事は至當であると最初に明言して置く次第である。

二

今日我國の經濟界は資本主義經濟の行き詰りの凋落時代であつて今將に倒壞せんとする斷末魔の深谷に進みつゝある樣なものである。かゝる時に經濟的鬪爭のみによつて我々の戰線を進める事は種々なる原因によつて到底不可能なる事は同志のすでに御承知の事である。現今經濟鬪爭の下火になり其の數の寂寞たる有樣は正に之を立證して居るもので無くて何であらう？

然しながら凋落の域に入つた經濟界と謂へども波動的な循環によつて多少は頭を擧け、恰も昏睡せる病人がしばし眼を開くが如き狀態に持直す時がくるであらう、然しこの時は資本家階級と無產階級との懸隔は以前よりも甚だしく其の搾取率が以前にも增す事は火を睹るよりも明かである。

其の時こそ眞の運動が可能となり不況時代の陰性的運動が一時に陽性的運動と化すのであつて現在の陰性的運動は謂はゞ來時機の戰鬪準備時代とも言へるのである。

この時に我々は階級的に——組織的に無產階級を經濟的方面に訓練す可き好機である事を考へねばならん。

三

經濟界の不況にともなうて經濟的行動のみの運動は到底不可能になり其れによつて政治的行動に向はんとする形向の出てくるのは當然である。政治なる解釋について狹義の解釋をして墮落と腐敗に導くものだ等と反對する人もある樣だが其はブルジョアカルトに支配されて來た關係から政治なる又は政治行動なる意味を議會內に置くの判斷であつて、我々無產階級の政治なる意義は廣義に解釋する議會外の政治其れ即ち我々の解釋する政治の意である。

たゞ社會制度の如何によつて議會內の政治もたゞ手段として見るに過ぎずして議會外の一階級に過ぎぬ道程であつて理想目的では無い。然し現在の無產階級の現狀を見る時、其のあまりに自覺せざる、階級意識に乏しいかゞ解されるのである。之を思ふならば我々の戰線まで彼等同志を叫合するには—どうしても大衆化するには議會政治も手段として考へる必要があるので此處に於ての政治的意識も議會內の事を言はうとするのである。

我が勞働運動も政治的行動肯定の形向に向つて來て、普選も確實な今日に我々は無自覺な我等の背後の兄弟を呼び醒ますに最も適した時であつて又大衆を我等が掌中にまとめる事が我等の戰術中最も心要なる事だとするならば我等は大衆に接近する最適の手段として政治的行動にもつと／＼深く進み民衆の團體（青年團、在鄕軍人團等）にもつと／＼民衆化——大衆化して侵入すると共に彼等を覺醒させねばならん。然して經濟的方面の團結と政治的方面の團結をより堅固にすると共に以上の二方面の團結を常に身の兩輪の如く平行さすべく連結させねばならんと思ふ。最後に今や惡法なる維持法案が通過した今日陰性的に準備する準備時代である事をはつきりと意識すると共に堅い最後の覺悟をせねばならぬ時代である。（完）

ブローカー團

■自稱日本共產黨こと一名ロシアブローカ團は又この頃、何とかして政治研究會を我が物にせんものと掛つて居ると云ふ話だ。この連中にとつては、日本無產階級よりはロシアのジノビエフ派の御氣嫌が問題なのであつて、隨つてその筋への御報告御宣傳は念の入つたものだとある政治研究會などに就ても「政治研究會は我々がやらして居るのだ」と云ふ御報告がもうとつくの昔に屆いて居ると云ふ話だ。

■如何にも、御尤も堺御大將も公然入つて御座るからね、と申し上げたくなる。だが政治研究會とてさう骨拔き許り揃つて居るまい。死を賭してもこの謀知と爭ふ人間も無きにしも非らずだらう。否、もうその硬骨漢はそろ／＼出掛つて居るとの話だ。

■このブローカ團の中に高津正道と云ふ[illegible]中僞大才の男がある。この仲間ではナントカ委員長ださうだが、この未來のナントカ委員長殿、それかあらぬかこの頃頻りに政治研究會へ出かけて來て物識りをかもして居るさうだ。

■この男元來人格があるじやなし學問があるじやなし、上の人間と見れば見ればベコ／＼し下の人間と見れば見得を切つて見せ、社會主義界での評判の惡いこと甚しい。只この男の勝れた點は、實に賣名のうまいこと、節操のないことだ。

■大杉榮はかつてこの男を呼んで「なまくさ坊主」と云つたが、このなまくさ坊主は初めアナキズムに

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

端書回答

説明文

前號に引續き無產青年の使命に就て諸氏の意見を叩いた。尙農村には、農村無產青年の使命に就て回答を求めたが、紙面の都合で兩方を同一紙面で發表する事にした。

問ひ合せ文

今後の無產青年（或は農村無產青年）の使命に就て御高見を承り度く候。

政治的及び經濟的の團結

北澤新次郎氏

今後の無產青年は彼等が現在住んでゐる處の政治的並びに經濟的の事項を改革する爲に團結するにあると思ひます。現實を直視し、未來を凝視しながら。

無產階級社會の到來

鈴木厚氏

無產青年は無產青年の世を來させる事に一生の使命がある。が、口では譯なきもの丶いざ實際となると「眼がさめたら來てゐた」といふものではない、そこで所謂社會主義者となりたがる勿れ、社會主義者では大したことは出來にくいものなりてふことをゆめ〱忘る可からざる事ー。

團結に依る同一境遇の打開

堀江歸一氏

無產青年の使命は團結に依つて自己並に同一境遇に居る者の運命を打開するのみであります。

暴風を叫ぶ野人の意志

松本淳三氏

もうかうなつては仕方がないから、猫をかぶつて議會政治へ。そして、その上であらゆるトリックとポリシーとで、一大暴風を招いてくれ。それには隱忍、團結、情熱、野人の意志！ いつまでも野人である事を忘れないやうに願ひます。

無產青年は既成權力に賴るな

西村陽吉氏

階級意識といふものは、まちがひなく、どの階級にも植つけられてゐるものであるから、今後の無產青年は、一切の既成の權力や機關によつて、自己の運命を開發しやうと考へてはたらない。無產青年を知るものは、ただ彼等の伴侶である處の同一の境遇の無產青年の大群のみである。故に無產青年は如何なる形かに於いて團結して無產青年の大群の威力に於いてのみ、自己の進路を打開くやう心懸けなければならない。それ以外には何の方法もない。そしてその日の一日も早いことを望む。早い話が僕などがどう考へて見ても、プチブルヂョアに過ぎないからだ。

先輩の轍を再び踏むな

神近市子氏

これ迄の社會主義の諸先輩の運命は餘りにも賣名的功利的無効果的であつた。日本で社會主義的運動がこんなに長く實際勢力とならないのには彼等のその態度の排他的で情熱を缺いてゐた事に原因すると思ひます。今後の青年は彼等を離れて、無產者自らの爲めの無產者の運動をもう一度起す必要があるでせう。

明治維新の際に故山縣は革命の一原動力であつた。しかし明治後期の彼は最も保守的な分子で、新しい社會事情への到達の大きな暗礁の一つであつた。全く同じ事が社會主義運動の上にも起りつつあるやうです。

居たが、後程ボルシエビズムの盛になつたらいつの間にか天晴ボルシエビスト、コンムユニスと称へし、競争方法をも認むる社會主義者をはオポチユニストと云つて天晴日本一のボルを以つて任じて居たものだがこの頃では今度は政治研究會へ入りひたりとある。▲佐野袈裟美君に依ると、オポチユニストは一定の見解なく浮草の如く勢のあり利のある所に走るものを云ふさうだ。オイ、なまぐさ坊主、分つたか―（k、T）

母よ泣くか

谷口生

「助けは打つぞ！」と
ピストルの筒先黑く
今目の前に現はる

◇

ひそ〱と何かを囁り
ひそ〱と闇に消えゆく
人等あまたふえたり。

◇

一心にただ一點の火を望み
吸はるる如く
汝の子は行く。

◇

「かわい子だかわい子だ」
となめつくして哭れた母よ
其の子は後にかくと育ちき

◇

ふるさとの母よ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

人格の養成は一義

仲木貞一氏

立派な人格を築き上げる事が第一その必要事と思ひます。

村から縣 縣から國へ！

林重雄氏

餘りに問題が大きく私などは解答に困りますが、聲のみを大きくせず、村、縣に無產青年團體を確實に組織し全國的な團體を組織したいと思つてゐます。

經濟的制度の根本的改革

松山政雄氏

普選の實施は愈々確實となるに從ひ無產階級の間には政治運動への叫聲が今や囂々と唱へられつゝあるが吾等青年は此の政治運動の渦中へ斷じて卷き込まれてはならない。吾等は強ち政治運動を否定する者ではないが、青年には青年として果たさなければならない使命がある。資本主義的搾取制度の下に於て貧窮と困苦に呻吟しつゝある無產者は自己の生活を改善するには、此の不合理は搾取的經濟制度の根本的改革を行ふより外に手段がないと明かに自覺しながらも政治運動に依りて極めて穩健に改善せんとする自由主義的運動には吾等青年は斷じて從つてならぬ。吾等の取るべき道は依然として從來の如く反軍國主義運動を主體として一切の青年運動を起すの他はない。青年運動には聊かも政治的意味をも含まず、全世界の青年を階級的に組織し、經濟的に、團結する樣に努力しなければならない。

階級的立場を知れ

鈴木楠夫氏

私が今一般の無產青年に就いて望む所を述ぶれば、自分等は有產階級に對する無產階級であるといふ自己の立場にハッキリした考へを持つて貰ひたい事である。また、自己の立場に目覺めた無產青年に望むは、無自覺な無產階級の青年に對し此の階級觀念を鼓吹して貰ひたいことである。自己の立場に目覺めた無產青年が團結して進むべき途は改めて言ふ事を要せない所である。

社會主義の理想を高く持て

細野三千雄氏

普選が實施せられて無產階級の政治行動と云ふものが玉石混淆して續々具體化してくる事と想像される。卑近なる政治行動の事例は青年を誘惑し易い。斯かる場合青年の使命としては（一般的に云ふならば）資本主義的經濟制度の不合理を一層明確に認識し、無產階級の立場に透徹して惑はされず、社會主義の理想を高く把持して、無產老壯年共を激勵叱咤するのも重要な一職分となつて來ることでせう。

プロレットカルトの時代

北原以一氏

現在の社會組織について、もつと深い觀察眼を作り○○的術熟を養成するに努力せなければならんと思ひます。無智でお目出度い農村青年達の爲、（ブルヂョアカルト）より（プロレットカルト）への進行曲を高く吹きならし、○○的情熱の養成、これ吾々無產青年の重大なる今後の使命であると思ひます。

農村と都會 無產者の握手

青木登貢夫氏

（一）、狡猾なるブルヂョアの美はしき賞辭（模範青年とかの如き欺瞞）から超越して斷然正義の爲に起つこと

（二）、農村に於ける先覺者は、不勞所得階級に對抗する爲に、小作人が大なる力を要求する點に於て、農民組合に加入すること

（三）、婦人教化運動を重大視すること

（四）、無產階級の覺醒の爲に座談的講演會を絶えず開催すること

（五）、各農村及び都會の無產團體との聯絡を計ること

科學的智識の上に立て

井上敏行氏

甚だ無躾な言ひ分ですが農村の青年諸君には甚だ批判力が少いと思ひます。若し今後諸君が科學の研究を熱心におやりになれば、自

泣くか、なが涙は
今宵の我を氣違ひにする

血の聲

直平

血だ 赤旗だ
行列だ 一團だ 威力だ
感激だ 正義だ
官憲だ 民衆だ 同胞だ
反抗だ 死だ
勝利だ 腐敗だ

おお我がユートピヤは何處に……
あれだ！ あれだ！
血の海の彼方 赤旗のかげに
我がユートピヤは
鮮かな血潮に濡れて
立つてゐるではないか？

劍光だ 銃口だ 砲煙だ
手手手 飢えに藻搔く 手手手
腸肉 髑骨
何然！
無數に馳ける亡靈の群は
俺を引張りまわす

「チョッペイ」 そら！
勝利だぞ！勝利だぞ！
やつてくれい」
「勝利だ！やつてくれい、、
後から來てるぞ！後から後から
も……―
おおその聲は誰だ

汗か？ 涙か？
力だ 生命だ 民衆だ 正義だ
忍苦だ 感激だ 勝利だ 人生だ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

然に自己の立場と現代社會との關係を明白に意識されることは毫も疑のない處だと思ひます。

其時初めて農村青年の重大なる使命に自覺される事でせう。搾取階級撲滅の信念は必ずや純眞なる諸君の熱情を燃やさずにはおかないでせう。

農村を捨てず 最後迄鬪へ！

吉川長太郎氏

農村に於ける無産青年の任務は或る意味に於て都會の無産青年よりも重大なるかの感があります。

今日までの缺陷

一、都會の勞働者よりも水準の低かつたこと

二、交通の不便な爲め他地方と迅速に連絡のとれてゐなかつたこと

三、血氣あり意氣ある青年が農村を去つたこと

四、運動の實權が比較的老人の手に有つたこと

五、都會の勞働者との間の密接さを缺いてゐたこと

こうした缺陷を補ふために

一、あらゆる機會に講演會、座談會其他を開催し又圖書雜誌等の販賣すること

二、常に文書を交換し運動の情勢を報道すること

三、花々しいこと、浮調子なることを愼み互に密着した根底ある運動をやるべく農村に踏み止まる事

四、運動の中堅となること。既成政黨の誘惑の魔手を防ぎ農民黨へ小作人の政黨への墮落を防止する事

五、都會の無産者と農村の無産者とは有機的で且密接なる關係を持續して最後の目標に向つて進む事

決定的威力は 農村青年の手に

山根積氏

今日の農村無産青年は過去五十年間の教育制度と數千年來の傳統習慣によつて殆ど完全に近い程に去勢され、目隱しされて、知らしむるべからず寄らしめられてゐます。この國の柱肩をなす農村無産青年を醒めしめて無産階級者たる意識を起さしめ其歴史的使命である無産階級社會の建設、搾取者なき自治共同の新社會を建設する爲めに身命賭して盡さしめる。

これに至らしめるまでの教育（プロレタリヤ教育）と指導を爲すべき重大なる任務を持つものは思想をもつた先覺青年である。しかしながら先覺青年の前衛隊の後に續いて前進すべき者、即ち農村の大衆無産青年（小作青年）は決定的働きをなす使命をもつてゐる。威力を持つてゐる。

我等の使命は 新社會の開拓

環不朽氏

打ては響く、一にも農村振興策二にも小作人農村の擁護、これ等の瞞辯政策を以て、無産大衆の心を燃え立たせて揚句の果は骨拔きの普選で彼等の存在を無視し、治安維持法案のもとに、大衆の生命を蹂躙して、曠野に屍を曝すべく無産者を鐵砲丸の的にした頑迷なる特權階級、何時の世にも灰にされる我等だ。要するに農村振興策は寧ろ、自覺せる農村の無産青年にあるはづだ。一部の部落より一村に、一村は一郡、一縣、大にして一國と大同團結、さしてはじめて吾等の活路は見出される。實際に於いて今後の無産青年の使命こそ重大である。荒廢せる田野に立て、起つて無産大衆の爲に努力せよ！

鐵の如き 意志と猛進

前田泰雄氏

官憲青年團に眠れる所謂保護青年こそ無自覺な我が無産青年である。此去勢されんとする兄弟を我が陣營に取返せ。而して都會青年と握手をし農村青年を圏外にしてゐた社會運動の渦中に投じて猛進するにあり、全國的に美味に——顧らず嵐に恐れぬ鐵の如き意志をもつて進め！

何故農村は 疲弊するか

水野貝三郎氏

俺達農村無産青年は先づ何故に農村は疲弊するのであるか、其の根本の理由を徹底的に探研して、其の對策を講ずる爲に俺達プロ農村青年は固き決心を以て一致團結し、疲弊する農村の救濟運動に投じ眞に光輝ある農村文化の建設にあくまで邁進する事が、それ俺達農村無産青年唯一の使命であると思ふ。

農村文化の 建設は我等の手に

佐久間一夫氏

共産黨宣言の中に「無産者の失ふところのものは鐵鎖のみしかしてその得るところは全世界である

血と骨との泥濘だ
劍光と銃聲との混亂だ
赤色の太陽はキリ／＼ふるえてゐ
　る

俺は立つ

國利生

丹那大隧道に働く幾百の兄弟達よ
俺達は賃銀奴隷の鐵鎖に繋がれて
夜となく晝となく
地獄の樣なトンネルの奧深く追ひ
　込まれて
カンテラ一つを命の綱として
日夜命を削つてる！兄弟達よ
夫は誠賃作業なんだ　命を投げ出
　してるのだ
山でも崩い時は
知らせも何もなく岩石崩壞しては
幾十の兄弟達は事業完成の犧牲と
　なる
無殘や！發破の爲めに不具となる
　の事もある
重傷輕傷は絶へず俺達を襲來して
　る
夫で　酬ひらるゝに一雙何だ
單に生きて行くと云ふ丈けの
僅か許りの賃銀で突き放さる
こんなに危險で命掛けの仕事をし
　ても
現代社會では正當の賃銀さへ貰へ
　ない
おまけに會社と俺達の間に介在し
　てる
請負者と呼ぶ怪物の爲めに
うんと「ドタマ」をはられて
俺達は　やせて行く細くなる許り
夫だのにどうだい彼奴等は
遊んで居作ら　豚の樣に丸く肥つ
　てる
こゝて「持てる階級」と「持たざる

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

萬國の勞働者よ團結せよ」とある今後の無産農村青年は大同團結して、破壞へ、破壞から建設へと猛進しなくてはならない。

農村青年は新文化社會建設の前衛隊であり、進み戰ふ。戰ひは俺達の勝利たることの確信をもつて自由平等全人類の爲に團結せよ！

解放戰上の眞の提携をなせ

白石重雄氏

都會の青年たると農村の青年たるを問はず、提携して「眞に提携して」解放運動の前線に動かすべからざる勢力を築き上ぐべきだと思ふ。

熱し易き者、力弱き者は兎角幻滅を感じ易い。僕等は人間である。多少の失策は止むを得ないが、それ等の失策の少き經驗を今後二倍三倍にして活かしてゆきたいと思ふ。

思想的啓蒙運動に努めよ

物部明氏

我が國に於ける農民運動は驚くべき急速度を以て全國的に發展し日本農民組合は創立後日尚淺きに拘はらず到る處に支部は設けられ縣に農村に於ける堅固たる一大社會的勢力となつた。

然し乍ら吾々は其の組合員に接する時常に感ずる事は一般組合員の階級意識は極めて漠然たるものであり、思想的に比較的目覺めてゐないと云ふ事である。即ち彼等の大部分は社會改造の何たるかを知らず農民組合の使命の如何なるものなるかを解せず只朦朧たる意識の下に行動を執つてゐる事を思ふ時實に無智の心細さを感ぜざるを得ない。勿論資本主義の教育制度下に無産階級は充分教育する機會は與へられてゐない事にも起因するだらうが要は指導者たる青年の教化運動が徹底してゐないが爲である。其結果工場勞働者の運動との提携上にも少からざる支障を來してゐる。

殊に治安維持法の如き惡法が施かれんとする今日に於ては階級意識の不劃然な組合が運動其ものに對して一種の脅威を感じ遂には組合運動から遁ざかつて仕舞ふ結果になる。

故に今後の農村無産青年の重大なる使命は此の頑々たる思想の下に行動してゐる小作人の智能啓蒙の爲め極力革命的教化運動に努力せなければならない。

團結力と土地の解決

倉本晃南氏

一、何よりも先づ農村無産青年の一致團結が第一であります、農村の疲弊を挽回するには、此の團結が唯一の武器であります。

二、次は、先づ土地の解決であります、農民が現在の如く地主等に搾取されて居る内は、何時になつても此の疲弊は免れない、茲に於て吾等青年は、固い決心と團結を以て、今俺等の作つて居る、小作地も、搾取されない土地に獨せ占めることが、夫れが農村青年の使命であります。

三、そして右の目的を遂するには吾等農村無産青年は、全身を捧げて、一團となり、農民運動、社會運動に投ずることが是れが併而唯一の使命であります。

今の仕組では貧乏は必然

（三ページの下段から續く）

社會にはその一方に前號に論ぜるが如き社會的無駄なるものが行はれて居り、他方に以上論ぜるが如き社會的搾取なるものが行はれて居る。人間はその勞働に依つて富の増加の素てある剩餘價値を作るけれ共、その剩餘價値は全て少數なる資本家階級の手に吸ひ取られて行く。大多數の無産階級は斯くしていつ迄經つても、社會の仕組が現在のまゝである限り、貧乏から浮び上る瀬はないのである。「働け共〳〵我が生活樂にならざり、ぢつと手を見る」と、から歎つて薄幸の詩人啄木は、今から十三年前貧乏に貧乏して死んで行つたが我々の運命も遲かれ早かれそんなものである。我々の希ふ所は、せめて我々の次の時代の人々にはこの我々の時代の様な生活をさせたくないことである。

今の世の中は、生産機關が「社會有」でなく「個人有」であるがために、随つて「協働制」でなく「競爭制」であるがために、如何に多くの不合理が行はれて居り、如何に多くの人々が苦しんで居るか！、その仕組が惡い許りに、社會は如何に苦しみ悶えて居るか！

然るに、今や我が日本支配階級諸君は、この惡い仕組に對して文句を云ふものをば、片端から引つ捕へて「十年以下の懲役又は禁錮に處す」ると云ふのである。人々は今や胸に手を當て眞にその去就を考ふべき秋である。（完）

階級」とが
ハッキリと　わかつて來るのだ

こうして俺達は
ブルジョアと議員者の爲めに二
重の搾取に苦しめらるるのだ。
おーい！兄弟達よ
宜加減に眼を醒まさうぢやないか
こんなに蹂躙されては
何ぼ鈍感な俺達だつて沈默してる
譯に行かない
俺達の脈搏には生れ乍らに
反逆の血は流れてる居るんだもの
夫うだ俺達は立たう
遠くの方で鐘が鳴る　暁鐘が闇へ
るこうした叫聲は終に階級戰と生
むんだ

（熱海にて）

勞働行進曲

一、友よ友、ほのかに白む黎明の
鐘は鳴ろ鳴る
お互ひに手を握り合つて
さあ往かう我等が友よ

二、ほんとうに我等の世界だ
呪はれの暗い過去から
ぬけ出てよ
我等の血潮はまだ涸れぬ

三、虚妄の鎖斷ち切りて
友のかばね踏越へて
曙紅き東雲に
向つて裸で踊らふよ

四、あゝ鳴る鳴ろ
強い眞赤な太陽が
我等の大地照すとて
覺倍けて鳴るよ友

（一「撫茶幽片」）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

近世社會主義史（七）

―ロシア及イギリス社會主義―

春田正

ロシア社會主義

元來ロシアといふ國はまことに特徴のいちゞるしい國であつて、政治上に於いても思想上に於いても、最極端と最極端とが早くよりその特性を示してゐる。最近まで右翼では中世流の教會員及貴族が幅を利かしてゐたと共に、左翼にはアナーキスト（無政府主義者）及ニヒリスト（虚無主義者）がゐて、一般人が遠い將來に夢みてゐる理想社會を明日にも現出しようとしてゐたのである。

近年に於けるロシアの社會運動を思想上より區別すれば、大體二つに分けることが出來る。一はマルクス主義を祖とするもので、他の一は無政府主義的特徴を持つたロシア獨特の社會主義である。前者はボルシエビキとなり後者は社會革命黨となつた。併し吾人は茲では主にボルシエビキについて述べることゝする。

マルクス主義が初めてロシアに紹介されたのはプレハノフの努力による。そしてマルクス主義の社會運動が力を得初めたのは、一八九八年プレハノフ等の奔走によつてロシア社會民主勞働黨が設立されて以後のことである。

この社會民主黨は後に到つて、内部に意見の相異が起り、二派に分裂するに到つた。即ち勞働組合によつては社會黨以外の諸派とも提攜を敢て辭せず、勞働組合の發達に專ら力を注ぐことを主張する温和なる經濟的進化主義者と、組合主義を信ぜず、他派との提攜等は以ての外とする急進革命主義者との分裂之である。前者はメンシエビキと言はれプレハノフ、マルトウ等が屬し、後者はレーニンの率ゐるところのものであつて、所謂ボルシエビキである。メンシエビキは少數を意味し、ボルシエビキは多數といふことを意味する。蓋し其の名稱の由來は、當時兩派に屬した數の多少に依るものである。

一九〇五年當時有名な僧侶であり勞働者の味方として知られてゐた神父ギヤポンの吹いた笛につれて、十萬の人々は無視されてゐる彼等の政治的權利の獲得を要求して、冬宮へと向つてその示威運動を行つたのである。併し乍ら何等武裝なきこの行列は、忽ち軍隊の砲火を浴びて血と怨みとをその場に留めて四散したのであつた。ギヤポンは平和な時の善人であつた。併し彼が人民の權利のために吹いた笛の音はやがて、一身の安全を哀願する音と變つた。此の劇的狀景の演出者である彼はやがてその魂を皇帝に賣つたのである。とはいへ、人民の流した血は無駄ではなかつた。此の演劇に次いでワルソウ及ボートランド一帶に革命的ストライキが起り。間もなく全露に擴がるに至つた。斯くて皇帝は遂に全勞働階級と他の多くの者を除いて、人民の選擧權を認めることを宣言した。併し乍ら人民の要求した權利は斯んなものではなかつた。次いで有名な總同盟罷工がモスコーを振り出しに全ロシアに起つた。而もそれは全く一帶に行はれ、交通機關は止まり裁判官までがそれに加はるに至つた。さすがに此の時は、當局も手の施しやうがなかつた。露帝は漸く國會の招集を約言し、大赦を布れ出した。併し國民は却々所信を下げやうとはしなかつた。暴動は各地に起つた。

一九〇六年最初の國會が招集されたが、此の時はさうでもなかつたが、翌年第二期の國會が招集された時、社會民主黨及社會革命黨に屬するものが五二四の議席の内一三二の議席を占めるに至つた。斯くて露帝の不快を買ひ六月議會は解散された。此より數年間猛烈な、社會主義者及政治的權利要求者の壓迫の時代となる。一九〇六年より一九一〇年に至る五年間に死刑に處せられたもの三七四一人、罰せられたもの一九一四五人、暴動のための死傷者數十萬人と言はれてゐる。

社會民主黨内に於いても甚だしい沈滯と、内紛の時代が續いた。やがて世界大戰が起つたのである。

社會狀態の變化動搖は社會主義黨にも多大の動搖と變化を來さしめた。此の間、トロツキー、マルトヴ等はメンシエビキを脫してボルシエビキに投じた。やがて革命が起つたのである。

帝制が顚覆されるや、社會革命黨員であり、勞兵會副會長であつたケレンスキーが一時內閣を組織し、メンシエビキと提携して行かうと試みたが、ボルシエビキの强烈な反對を買つた。而も彼等がこの急激なるボルシエビキを鎭壓しやうとした試みは、却て人民の反感を買ひ、ボルシエビキの勢力を增進せしめ、勞働者、小農民、水陸兵士等から成る勞兵會を中心として漸々その勢力を布延せしむる結果を招いだに過ぎなかつた。斯くて一九一七年ボルシエビキはケレンスキーの指導下にある他派社會黨の勢力を驅逐し、ボルシエビキ政府たる人民委員ソヴイエットを組織するに至つたのである。

茲で我々は一度思ひを停めてボルシエビキの思想に聞いて見ることとしよう。

ボルシエビキは彼等こそ世界に於ける唯一の眞のマルクス主義信奉者であると信じてゐる。彼等は民主主義を容する他のマルクス主義者に對しては「マルクス主義の叛逆者」或は「僞善者」の名を以て罵倒してゐる。彼等に依れば革命は勞働者自身の手で成就しなければいけない。他の階級の參加は單に之を拒絕すべきものゝみでなく、彼等の參加による民主主義的方法は階級鬪爭的無產者にとつては一つの危險なる遮片物であるとする。彼等の遂行方法は「其の敵と論議するに非ず、之れを殲滅する」にある。武器を手にして、赤旗を正面にふりかざして資本

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

家階級に直接するにある。

斯くて彼等は世界に於ける最初の社會主義政府を樹立した。彼等の標語は「無産階級の獨裁によつて共産主義へ」といふことである。そしてその獨裁の衝に當るものは少數の階級意識を持つたものに限られてゐる。彼等は無産者獨裁の形式としてソヴイエット制度を採用する。ソヴイエット中直接選擧によるものは、都市と村落の代議員である。その上の郡、區、州、市、縣、省ソヴイエット大會及最高ソヴイエット大會は間接選擧による。即ち村ソヴイエット代表が集まつて郡ソヴイエット會議を組織し、郡ソヴイエット會議の代表と市ソヴイエット代表とに依つて州ソヴイエット大會が成立し、順次この方法による。そして投票權者は男女生活の爲め勞働に從事する者及ソヴイエット兵士に限る。

彼等は經濟政策に於て社會主義の自然的發生といふ概念を棄てた。彼等は營々として社會主義的經濟中央集權に努めた。併し彼等の經驗は彼等に資本主義利用の政策から出發さなければならぬことを教へた。幼稚なる經濟狀態にある國は矢張りこの過程を通らなければならなかつたのである。所謂レーニンの新經濟政策が之である。

ロシア革命の立役者レーニンは死んだ。併し新經濟政策によつて新しく出發點を初めた勞農ロシアは今後如何なる發展をなすか甚だ見物である。我々はロシアの革命を「見た」。併し今後のロシアの經濟政策を「見る」ことも亦我々の興味を深く誘ふものである。何となれば我々はボルシェビキを以てロシア的マルクス主義となすからである。

イギリス社會主義

イギリスの社會運動は温和着實忍耐持久をその特徴とする。併し乍らその穏健着實な運動の内部には矢張り、人間としてのイギリス勞働者の面目が示されて居る。

一八〇〇年の英國に於ける團結禁止法は、英國の勞働運動の方向に力強き影響を與へてゐる。人間の思想、人間の欲求は高壓的權力と、威嚇的脅迫によつて悉く之を左右し得るものと考へるのは愚な事である。それ等を決定するものは人間の直接的生活と、拒まれたる不足に對して特に熱烈に増進せしめられる。この團結禁止法はやがて、イギリスの勞働者をして秘密に多くの勞働組合を組織せしめた。而もその組織に當つて、彼等は深く自階級の立場を自覺し彼等の救助は彼等自身の階級の團結の力に頼む以外にはないと考へるに至つた。斯くて團結禁止法が解かれるや勞働組合運動は猛然と起つた。併し彼等はまだ資本主義制度を否認しはしなかつた。與へられた資本主義制度の下に於いて出來る丈け彼等の地位、生活の向上を目的としたのみであつた。斯くて早き團結禁止法の解除と、經濟界の繁榮とは勞働組合を非常に盛んにはしたが、チャーチスト運動が終息して以後、三十年の間英國の社會は平和の時代を來さしめたのである。併し乍ら、この平和時代は又、やがて起るべき社會主義の醸成時代でもあつた。財界の恐慌は、やがて個人主義、自由主義の没落を齎し、再び社會主義の勃興を來さしめ、温和なる自力自助主義の勞働組合は、やがて社會主義的新勞働組合の擡頭となる。

マルクスは近世的社會主義の父である。各國は競つてマルクスの觀念そのものを輸入した。そして爾後各國の社會運動は事毎にマルクスの觀念の足枷によつて拘束された。

イギリスは一八六〇年以後のマルクス常住の地であつた。それにも拘はらずイギリスの社會主義は他の國と別個の過程を通つた。イギリスの社會主義は、その主張を色々の方面から採用して、マルクス主義そのものゝ拘束から脱却することが出來た。

一八八三年始めてマルクス主義を英國へ輸入したのはハインドマンであり、マルクス主義を標榜して立つた運動は社會民主同盟であつた。併し間もなく英國の國情と合致しなかつた此の運動は、英國人の傳統的な性情を基礎として、一八八四年に生れたフエビアン協會に取つて變られた。このフエビアンの名稱の由來は、ローマの名將フエビウスが敵將ハンニバルを持久と忍耐とを以て徐々に攻め落したことに起つてゐる。即ちフエビウスの行つた如くに、徐々に社會主義的成功を治めて行かうといふのである。

フエビアン協會の主要人物は、シドニー・ウエップ及バーナード・ショウ等であつた。彼等はマルクス主義及從來の社會主義に對して極めて忌憚なき批評態度を以て向つた。彼等の第一の仕事はマルクスの資本論の點檢であつた。其處で彼等はマルクスの勞働價値説に反對し利用價値學説を採用した。又彼等はマルクスの革命主義及階級闘爭論にも反對する。社會主義は決して短時日の中に一擧にして實現出來るものではなく、平和なる漸進的改革によつて始めて可能となるものであるとし、社會主義社會が革命の翌日に待つてゐる等といふことは考へられないことであるとした。併し乍ら彼等は全くマルクスの學説に反對のみをしたのではない。マルクスの及ぼせる影響も亦輕視すべからざるものがあつたのである。

フエビアン協會は實行方面には始め何等手を染なかつた。彼等はその學説の樹立に日も之足らなかつたのである。そして實行方面を擔當したのは一八九三年に出來た獨立勞働黨であつた。

獨立勞働黨は始め社會主義者よりは寧ろ勞働者全般を包含することを目的としたのであるが、間もなくフエビアン協會と行動を共にするに至つた。彼等は勞働組合が經濟上で行ふと同じ様に政治上に於て、勞働階級の利害を代表し、之を自由黨や保守黨から分離せしめる爲に組織せられた團體であり、彼等の社會主義は「一階級に向つて宣戰せず、一制度に向つて宣戰する」ものとなした。

此の獨立勞働黨の性質は間もなく英國勞働者に適合し、非常なる發展をなすに至つた。而して彼等は又勞働組合とも提携することを忘れなかつた。そして多くの勞働組合員の加入を得、彼等を社會主義へ導くことに大いに貢獻した。

愈々次に、我々はイギリス社會主義史上に記憶すべき時代の來つた

ことを讀者に告げなければならぬ。それは勞働黨の出現である。

一九〇〇年六十七の勞働組合の代表者は、三つの社會主義團體即ち獨立勞働黨、フェビアン協會及社會民主黨（社會民主黨は間もなく脫退す）の代表者とロンドンに會合し、議會的運動の協調を保つことを目的として、勞働代表委員會を組織した。次いで一九〇六年彼等の中から二十九人の議員が選出され、その名稱も勞働黨とするに至つた。そして最初の首領はケーア、ハーディーであり、黨員は主に社會主義的意見を採用した。併し勞働黨は黨としてその政策に一定の原則を持たなかつた。そう云ふ申出はあつたにはあつたが、社會主義者以外をも含む所以を以て採用されなかつた。彼等は例へ自ら社會主義の名稱を高唱しなかつたとはいへ、專ら議會内に於てその効力を發揮しようと試みた。

しかし乍ら世界の大戰亂は勞働黨をそのまゝにはして置かなかつた。やがて勞働黨は彼等の社會主義的綱領を具體的に主張する機會を與へられたのである。但し彼等の唱ふる社會主義はマルクス流の社會主義ではなく、フェビアン社會主義である。而して彼等の唱へた戰時に於ける私經濟的活動の制限及産業經營の國家管理說は政府の政策に强き影響を與へた。一九一八年勞働黨はその組織を改め、個人黨員の加入を許し、婦人參政權の確立されるや又婦人の入黨の途をも開いた。

斯くて勞働黨は益々その黨勢を擴張し、政界に於けるその勢力は犯すべからざるものとなつた。けれども一九一二、三年頃から此の政治運動にあまり快からぬ一派が頭を擡げ始めた。そして彼等は集産主義とサンヂカリズムとを調和せしめようと試みた。即ち政治權力の運用と共に、産業的運動に對して力を注ぐべきことを主張する。

彼等に依れば經濟上の解放運動こそ第一義的のものであつて、政治上の運動の如きはその次の問題に過ぎない。現代の社會悪の根源は、政治運動によつて「貧窮」を除く前に經濟運動によつて隷屬そのものをなくしなければ根絶せられない、と言ふのである。即ち之はギルド社會主義であつて、未だその主張内部に多くの議論の餘地を藏し乍らその主張の各方面に及ぼせる影響は輕視すべからざるものがある。

ボルシエビキの革命の全世界に及ぼせる波紋は甚だ大きかつた。イギリスに於ても一九二〇年共產黨の出現を見るに至つたが、その勢力は未だ大ではない。

斯かる中に於て勞働黨は一九二二年の總選擧に果然大勝利を博し一四三の議席を有し、下院に於ける最有力なる在野黨となるに至つた。斯くて勞働黨首領、ラムゼー・マグドナルドの下に天下晴れて英國社會主義黨たる勞働黨が内閣を組織するに至つたのである。しかし彼等は何をなしたであらうか。マクドナルドの執政はあまりに短かつた。英國流の社會主義は氣長く見なければその正體が分らないことになつて居る。以上のロシア及イギリスの社會主義の二典型は多くの教訓と暗示とを吾人に與へる。而してこの敍述の中に表はれたる吾人への暗示は、ボルシエビキかフエビアンかの選擇ではなく如何に社會主義がその國の社會的事情に適應して行つたかを知るにある。模倣や早合點は單に後悔の種を蒔くに過ぎぬ。（未完）

やゝ遠きものに思ひし
テロリストの悲しき心も
近づく日のあり

◆

その昔秀才の名の高かりし
友牢にあり秋の風吹く

編輯便り

櫻田

▲慌しくも大體の編輯を了へた。後のことは後の諸君がやつて呉れることと思ふ。私はこれから暫く猪俣津南雄松下芳男の兩氏と共に山陰に於ける同志の演説會に赴くべくこのまゝ今朝東京を發たねばならない。

▲猪俣氏は早稻田の學校に於て私の師であつた。其人と車中に久し振でゆつくり語れるのは嬉しいがサテ吶辯の私は向ふへ行つてどうしたものかと心元ないこと甚しい

▲然しまあ行つて來やう。そしてしやべるべきことをしやべつて來やう。要するに、世の中の仕組が惡いがたに我々は苦んで居るのだ。（石川）

◇盟友石川君が、松江講演旅行へ出るので忙しいといふことを聞いて、一日「進め社」に至り、編輯の見習をした。

◇今の「進め社」には非常にいい獨自の特徴を持つた人達が集つて居る。來るべき時の彼等の功蹟が思はれて心强い。

◇社會主義は、科學の所産の中から現はれ出た無生物ではない。それは正義と人道の目ざめをその起原とする。たとへ、空想的社會主義から科學的社會主義へ移り變つたにしても、社會主義者はこの根本觀念を置いて來なかつた筈だ。如何に社會主義の小理屈を振り舞しても、人として信ずるに足らない人間は先づ同志として御免を蒙り度い。

◇櫻の花も、もう散つて了つた。メーデーは來た。しかし日本の無産者諸君よ、諸君のうち幾人がメーデーに參加するのだ！友よ、兄弟よ、それは我々の問題なのだ。（天盃無性）

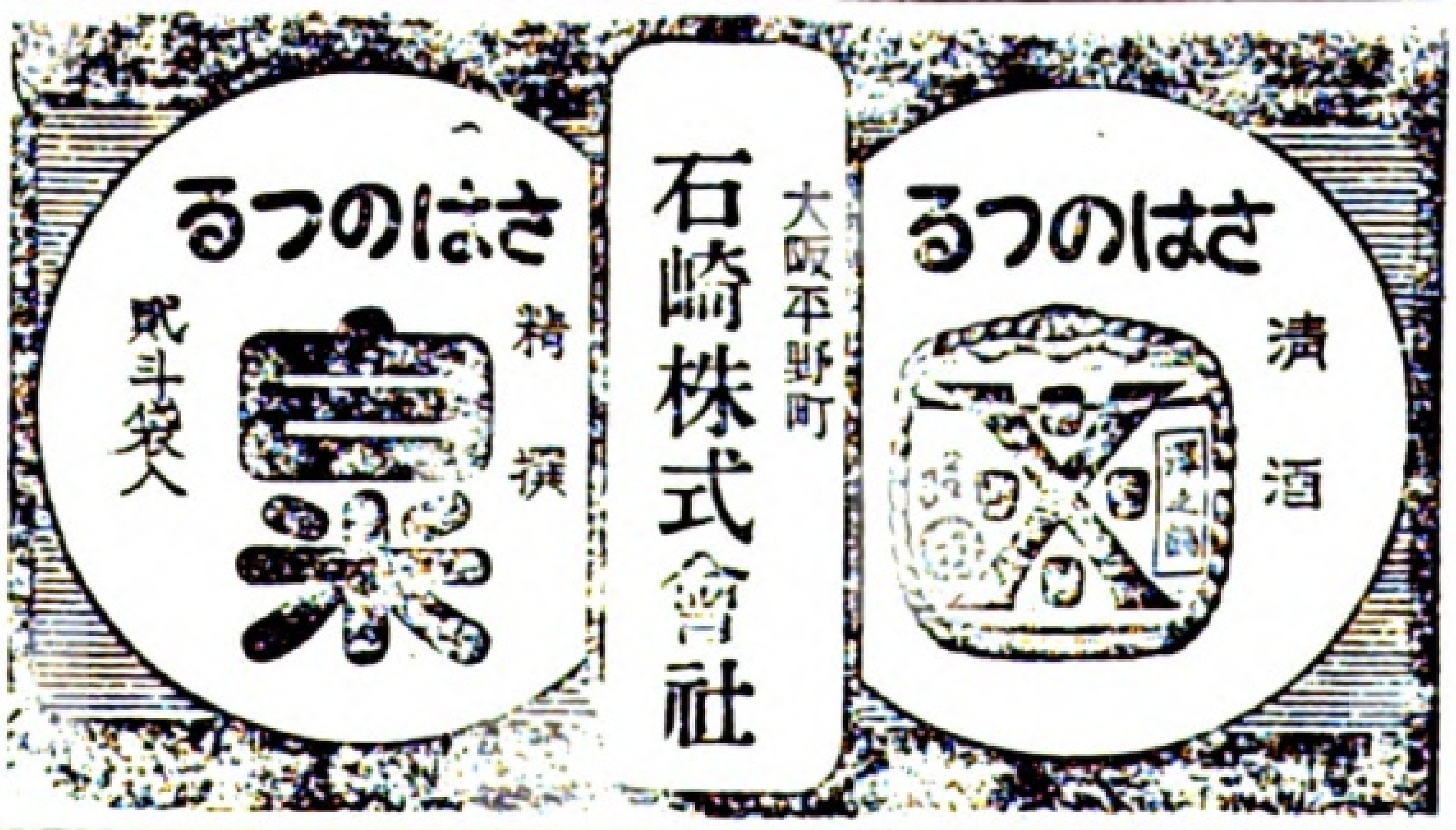
◇今月は、石川君と[illegible]川君とで大體の編輯をして下すつたので大分助つた。

◆でも今日は、石川君が山陰の講演旅行に出たので一人でウメ草入れをやつてゐる。

◆今日一寸手術したばかりの膝の關節の傷痍がかなり痛み出して、さうも思ふ様に書けない。まあ之からは、痛みをこらへて校正に取りかゝることにしよう。

◆校正はかなり、ぎんみして見てゐるつもりだが、やはりあら これは校正係りの罪ばかりでなく再校をやる文選にも罪がある。

◇今月は床に横つて編輯をした。何んでも世の中は、經驗が必要たまには、こうした事も思ひ出になるだらう。（虎之門小助）



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

小作人の法律顧問
小作人パンフレット發行
農村勞働問題の調査

大阪市東淀川區十三南ノ町

小作人社

振替大阪六九〇七二番

「進め」讀者法律顧問

赤坂溜町一丁目一番地（溜池橋前）

辯護士
辨理士
法學士 **久保山武雄**

電話高輪五〇五四番

◇社會主義
◇社會問題
◇勞働問題
◇婦人問題

圖書 雜誌
パンフレット
リーフレット
書籍 雜誌

新橋堂書店

大阪市此花區中江町
新橋南詰

通信事項

勞働運動
農民運動
水平運動
婦人運動
借家人爭議
社會主義通信

日刊 「**日本社會運動通信**」

六月一日創刊

東京市芝區新櫻田町
日本社會運動通信社
創立事務所

電話通信一ケ月五百圓
毎日三回一ケ月三百圓
毎日一回一ケ月二百圓

新聞雜誌其他の印刷

東京市芝區新櫻田町十九

自由活版所

所長 岡千代彦

◇勞働運動並勞働爭議
◇農民運動並小作爭議
◇水平運動
◇社會主義及び思想運動

通信

日刊 **關西勞働通信**

大阪市北區曾根崎

關西勞働通信社

電話長北三六番

東京市芝區三田四國町二

日本勞働總同盟本部發行

月刊 **勞働**

關西同盟會機關紙

（組合員外一部二十錢）

電話高輪三二九〇番
振替東京三一五七番

大阪市北區西野田江成町

勞働者新聞社

半月刊 **勞働者新聞**

日本勞働總同盟
關東同盟會機關紙

（一部五錢）

日本農民組合パンフレット

行政長藏著 （一部十錢）

◇**百姓はなぜ貧乏する乎**

大阪市此花區江成町

發賣所 日本農民組合代理部

振替大阪六七七八一番

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

特に
思想團體
勞働團體
水平社
に御用

緞錦布
高級既成品
中古品
卸小賣
商

野村商店

大阪市東區谷町三丁目交叉點南入西側
電話東一〇四六番　振替大阪一六六八一番

日本大學講師淺野研眞編

社會問題の字引

定價 十五錢 送料 二錢

發行所 横濱市根岸町三〇二七

前進社

金銀
白金

東京市神田區松田町
徳力本店

討閥運動

日本共產黨が大庭柯公銃殺事件勞働組合乘取り事件
一部五錢

仁丹

大黑

粟オコシ
福オコシ

大阪あみだ池

▼同じ電氣料で▲

マツダ瓦斯入電球

▼光力倍加▲

何處を探してもない時
洋酒洋食料品一式ならば
キリンビール
東區南本町（堺筋角）
明治屋
に行けばきつとあります

三越の商品券
◆本店及び各分店にて販賣◆

政治研究

五月號　定價金三十錢

△無產政黨綱領の問題……山川均
△獨逸諸政黨の社會的背景……藤井悌
△勞働組合の國際的統一運動……水上鐵治郎
△普選法通過と政黨の煩悶……片山哲・佐藤五郎・島中雄三
△陸軍分屯主義を排す……松下芳男
△小作政治の三ケ年……吉野信
△大藏省預金部の改造……松下芳男

發行所　東京四谷荒木町八　振替東京六六六一六　政治研究會

解放

▣新界に於いては、日本一的の大雜誌で而も世界一的に安い雜誌
▣定價三十錢、實價は十部前金壹圓。每月一日發行。

[illegible]

日本フェビアン協會機關雜誌。每月一日發行。

△我國における社會主義研究雜誌の權威▽
△定價一部三十錢（稅一錢）一年參圓參拾錢（稅共▽

東京市芝區新櫻田町一九（振替東京二七七五二）

◇日本フェビアン協會◇

全日本勞働者同盟機關紙

急進勞働者

同盟加入の組合員以外の配付を禁ず

全日本勞働者同盟創立委員

神戸合同勞働組合
山陰勞農青年同盟
大阪染色勞働組合
大阪染[illegible]勞働組合
日本勞働總同盟泉州聯合會
日本勞働總同盟泉州聯合會
大阪刷子工組合
關西勞働科學研究所員
關西勞働科學研究所員
關西勞働科學研究所員
關西勞働科學研究所員
熊本縣農民組合
日本農民組合
南海民衆新聞社
南海民衆新聞社
朝鮮勞働學校講師
土曜會
東京中央勞働組合
東京中央勞働組合
街鬪社
西部自由青年聯盟

松山前重藤三宮大宮松石矢長藤大山內阪貝聚樋
山根澤岡原瀬傳本久保城野原勝尾田周谷家山己谷部田口
政理靜次純恒潮司翠一久牧三秀一見
雄積一勞章郎一是作茂山浪有郎治一寛郎勝郎德

◆新らしき陣容を建直せる◆

民衆運動

內容

總らゆる無產階級の立場より、勞働運動、農民運動、水平運動、更に亦無產階級政治運動等諸社會運動上に於ける急先鋒を示れる新興無產青年の機關雜誌である！

同人

吾等の運動は最早や老人の占有物に歸すべきではない。此の重大なる吾等の運動の雛鍮を握る者は誰でもない。そは唯だ情と力に滿てる新興青年のものでなければならぬ。同人は總て新進氣銳の熱血兒である。

（同人　近藤憲雄、小杉三郎、小林實、佐藤光敏）

メーデー號

一部十錢

東京市上馬引澤五七四

發行所　民衆運動社

The Su-su-me Socialists Mc..th/y.
Hea office•No•19 Sakurada-Kubo... Shiba Tokyo.

吉田只次著

貧乏大根絶論

一、本書は科學的說明によつて、霊と肉、精神と物質の二大案件を解決す
一、本書は、マルサスの人口論をして顔色なからしむ
一、本書は、全世界に渉る動植物の偉大な繁殖率と、其實況とを讀者の眼前に展開す
一、本書は、貧乏といふ不可解な謎を、釋然として氷解せしむ
一、本書は、現代の産業界が數千倍乃至數萬倍の生産能率を擧げつゝある其反面に於て、現代人の大部分が、徒勞的勞働と、破壞的勞働とに從事しつゝあることを喝破す
一、本書は、二十五才から四十五才迄の男子のみが毎日三時間半づつ働いて、さうして分配の宜しきを得れば、全世界の全人類は、貴族的生活が出來ることを合理的に說明す
一、本書は、唯物論の立場から人間の生活を保證して、さうして人間をして眞に人間らしい道を歩ましめんとする處に絶對の價値を有す

定價一圓五十錢

横濱市西戸部町大松久保八二七
發行所 凡人社

辯護士 布施辰治 中西伊之助 共著
最新刊

社會隨筆 審くもの審かれるもの

四六判四一〇頁美裝函入
定價一圓九十錢
送料十錢

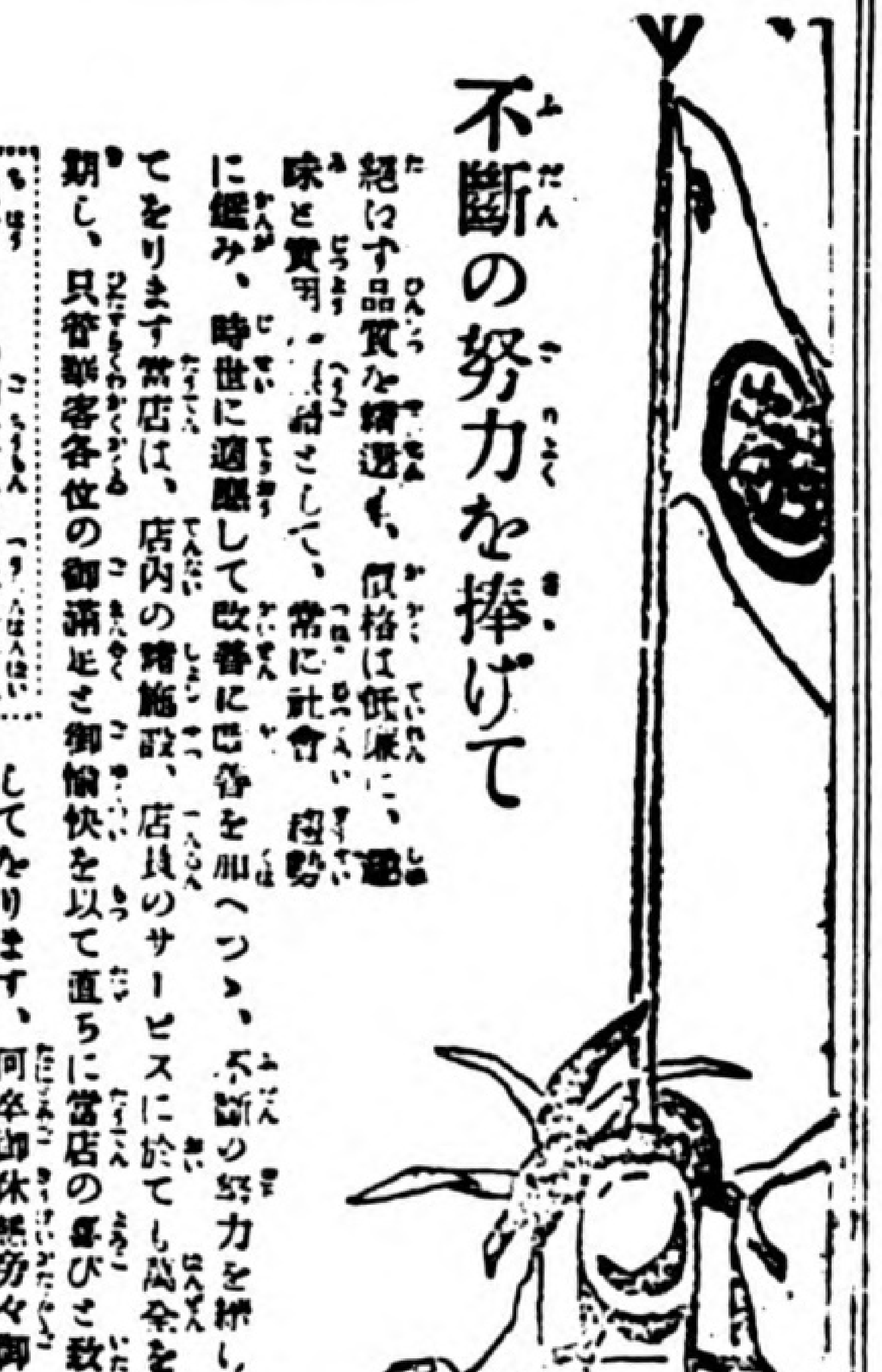
本書は布施氏の取扱へる事件の諸相を捉へ來つて中西氏が深刻な批判を加へた面白い如實の物語である。罪から見た人生。法律の鉄格が生んだ社會。ソレハ解剖した刑事裁判の一斷面に展開した人生の悲劇だ。深刻な人間生活の爭鬪があり、性的男女三角關係あり、性格破綻が生んだ自暴があり、お家騒動あり、殺人あり、姦通あり、冤罪あり、疑獄あり、眞にこれが人間記錄の騒音地獄である。事實の眞相は小說より奇であり、驚異である。

裁く者は常に裁かれる者から裁かれる
裁くものには疑獄はあるが、裁かれる者自身は常に明獄である。

裁く自分を善人と思ひ、裁かれるものを惡人と思ふ司法官、警察官の職業心理が皮肉なもので、罪を縱に見ると横に見るとの相違を社會と、法律上より人間心理を面白く解剖したる興味ある讀物である

權力の前に弱き民衆よ！！讀め

東京市神田區表神保町
自然社
振替東京三六五五一〇



不斷の努力を捧げて

絶えず品質を精選し、價格は低廉に、趣味と實用とを調和さして、常に社會の趨勢に鑑み、時世に適應して改善に改善を加へつゝ、不斷の努力を拂ひてをります當店は、店内の諸施設、店員のサービスに於ても萬全を期し、只管顧客各位の御滿足さ御愉快を以て直ちに當店の喜びさ致してをります、何卒御休息旁々御光來の程偏に御願ひ申し上ます。

地方よりの御註文は通信販賣部宛に願ひます、御その御手引さして御便利なる當店發行の「三越カレンダー」御申越次第御送附申し上ます。

大阪・高麗橋
三越呉服店

大正十二年一月三十日第三種郵便物認可 毎月一回 定價 一部 十錢 半年六十錢 一年一圓（税共）
發行所 東京市芝區櫻田久保町一九（振替東京六九八五三）
進め社本部

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN